平成２７年度事業報告

平成２７年度は、２６年度より行っている重点計画事項に新たな項目を追加して活動を行いました。重点計画項目としては、以下のとおりです。新は、今年度新たに追加した項目です。

1. 総合力の向上
2. 利用者サービスの向上
3. 法令遵守と透明性の確保
4. 人材育成
5. 収益性の向上

新 6. 中・長期計画

新 7. 啓発および広報活動

各項目についての具体的な取り組みに関しては、目標を定め実施しました。
（詳細は、別添資料参照）

以下、それぞれの項目ごとに今年度の特徴的な事柄について記述します。

1. 総合力の向上

利用者のステップアップを目的とし、第一（熱田）、第二（中村）の各事業責任者と相談従事者により、その方の目標に向けた支援会議を実施し、各事業の枠を超えて利用者支援を行いました。その結果、生活介護（生産活動なし）から生活介護（生産活動あり）へ移行した方や、生活介護（生産活動あり）から就労継続Ｂ型に移行した方、就労継続Ｂ型から就労移行を経て就職した方など総勢１９名がステップアップを果たしました。

2. 利用者サービスの向上

利用者満足度調査については、昨年の調査の結果をホームページや施設内への掲示で利用者および関係者に周知し改善に努めました。

第一ワークス・第一デイサービス生活介護において、第三者評価の受審に向けての取り組みを実施しました。また、この取り組みを通じて利用者サービスの向上に向けて法人全体での取り組みにつなげるようにしました。

基幹センターと相談部門では、介護保険についての連携や学びを深めるための研修会を実施し、相談員としての資質を高める活動を行いました。

事務局事業では、作品展への出品をこれまで以上に呼びかけ参加者が増加しました。

第一、 第二の就労継続Ｂ型事業では、工賃向上に向け愛知県の主催する工賃倍増計画に

職員を派遣しました。また自主製品の開発や印刷のスーパーバイザーによる協力を獲て、次年度にむけて取り組みを開始しました。
　聴言センターでは、かねてから聴覚障害者から要望のあった２４時間体制の整備に向けて名古屋市と協議を重ね平成２８年度の実施に向けて取り組みました。
　ヘルパーセンターでは、ヘルパーの資質向上に向け実践的な研修を開催しました。

3. 法令遵守と透明性の確保
　平成２６年度から移行している新会計基準について、担当者のスキルアップを図りました。また、社会福祉法人の制度改革に向けての情報収集や関係者への情報提供を行いました。

4. 人材育成
　人材育成のプロジェクトチームにより、各セクションで必要な基礎知識や経験年数によって必要な知識をまとめ、研修に活かすように取り組みました。
　ＱＣ活動を継続的に行いました。また、ＱＣサークル活動で取り組む内容も、これまで以上に施設のあり方に踏み込む内容になりました。

5. 収益性の向上
　セクションごとに、毎月の収支報告を行い、目標を定め運営を行いました。また問題点があれば改善に向けて取り組みました。
　旅行センターでは、毎月ツアーを企画し好評を得て、参加者が増えました。

6. 中・長期計画
　中・長期計画を策定するために、人材計画、施設整備・備品計画の取り組みをはじめ次年度の計画策定の準備を行いました。

7. 啓発および広報活動
　ホームページのリニューアルに向けて、その内容や構成などを議論するとともに、業者の選定をプロジェクトチームにて行いました。

平成２７年度　事業計画取り組み表

重点計画事項			現状・課題	平成２７年度目標		平成２７年度取り組み結果
				担当部署	目　　標	
１　総合力の向上	プロジェクト	利用者ステップアップ会議	現在、多機能施設であるにもかかわらず、利用者のステップアップに向けた情報共有等が各部門で十分でないため是正します。	就労移行・継続Ｂ型・生活介護	利用者の施設移行を活性化するためのケース検討会議を一か月に１回開催します。	担当者会議を月に１度開催し、一年間で延べ人数３８名、実人数２１名を対象。うち１９名が次のステップへ何らかの形で移行。残り２名については引き続き支援を実施しました。
２　利用者サービスの向上	利用者満足度の調査		昨年度に初めて法人全体で統一して実施した利用者満足度調査を引き続き実施し、更なるサービス向上を目指します。また、第三者評価について昨年受審準備を行ったことをふまえ、本年度は受審を実施します。	全体	定点一斉アンケート、退所時アンケートを実施	・報告書の自由回答に対するお答えの部分を作成しながら、「利用者満足を向上させるため」の姿勢と取り組み方を学びました。 ・第1回調査の反省点を元に一部改善と修正を加えて、第2回調査を実施しました。 ・より真意に近い結果を求めて退所時アンケートを行いました。
	福祉サービス第三者評価の受審			第一ワークス・第一デイサービス	第三者評価の受審を行います。	①書類作成　②マニュアルの整備　③評価機関の情報収集・選定 様々な書類やマニュアルが整備されていないことやサービス提供に関する方針・内容が不明確であることが判明。 →各種書類・マニュアルの作成と整備を進めました。また、サービス提供に関する考え方や実行方法などの整理を進めています。評価機関の選定は終わっています。
	各事業の重点実施事業	中村・熱田区障害者基幹相談支援センターの適切な運営	中村区・熱田区障害者基幹相談支援センターは平成26年度から、社会福祉法人親愛の里と共に共同事業体として事業を運営しています。2年目となる平成27年度は、「地域環境づくり」を重点事項とし、事業運営の柱としていきます。	中村基幹・熱田基幹	・地域での支えあいを重視し、地域の支援力を高める。 ・介護保険の改正についての研修を実施 ・ホームページの活用 ・共同事業体として知識共有の強化（連絡会１回/月） ・個別支援会議への意識を強化→ケースについて早期に職員間で開催の必要性を検討し、適切に実施 ・自立支援連絡協議会の運営 ・実習生の積極的受け入れ	・各種イベント「あったかあつた」「あった〇」「エンジョイフェア」「区民まつり」に参加しました。 ・中高生夏休みボランティア、地域福祉講演会、出張講座を実施しました。 ・3/1介護保険の現状について（講師；名古屋市療養サービス事業団　塚田氏）研修を行いました。 ・活動報告を毎月実施しました。 ・ひきこもりについての研修を７月に開催しましたが広報の仕方に課題が残りました。 ・職員間でケースの数の把握にとどまってしまい深めるところまでいけませんでした。 ・開催はできましたが、個別支援会議というよりも担当者会議となってしまいました。 ・避難所支援ガイドブック作成会議を開催しガイドブックを作成しました。
		特定相談支援事業と障害者基幹相談支援センター相談員の資質向上	平成25年度から、特定相談支援と基幹相談支援センターの職員は、機能別会議を通して、個人研究や専門研究に取り組んできました。その成果を活かし法人内部のチーム力を高めることと、福祉人材の育成を今年度の柱として事業を運営していきます。	相談・支援	・相談員の資質向上 ・相談支援専門員がケースを抱え込まない仕組みの強化 →相談部門内で事例内容を共有	・5/26障害者サービスについて、7/28障害支援区分と認定調査、9/29サービス等利用計画と個別支援計画、2/19成年後見制度（四区合同学習会）を開催しました。 ・担当者会議実施件数（２７年度） 　第一相談　　２８件 　第二相談　　２０件
		日中活動プログラムの改善・充実	障害状況に応じた日中活動プログラムが不足しています。利用者ニーズに合ったプログラム（仕組みや仕掛け）が課題です。	第一生活介護 第二生活介護 （生産活動なし）	障害状況に応じた活動プログラムを提供します。	第１生活介護 ・利用者の作品での館内装飾　・館内での作品展示・活動内でのインターネットの利用→情報収集などに活用しました。 ・CDリサイクル作業を開始→主力作業に次ぐ作業となりました。 第２生活介護 ・Ａルーム（食堂）・Ｂルーム（旧第三デイ）の活用を開始しました。Ａルームでは集団プログラム（創作・体操等）を提供。Ｂルームでは、個人プログラムとして静かな環境での創作活動等個人の希望にそった支援を開始しました。
		地域福祉の増進	これまでも実施してきた公益事業をより強化し地域福祉の貢献と増進を行います。	常務理事	当事者活動、新規会員の獲得等の課題があるため、引き続き継続します。	協会長、部会長会議の開催や福祉大会に向けて要望事項のとりまとめや行政との懇談会を行いました。
				事務局	これまで以上に参加者を増やします。	オリジナルツアーはすべて催行し、軌道にのせることができました。固定のお客様を着実に増やしました。繰り返して企画することにより、食事の内容や情報保障など、工夫して好評をいただけるようになってきました。

重点計画事項			現状・課題	平成２７年度目標		平成２７年度取り組み結果
				担当部署	目　　標	
２　利用者サービスの向上	各事業の重点実施事業	利用者工賃の向上	平成２７年５月に第２継続Ｂ型の定員を１０名増員することに伴い、新規利用者への工賃を確保します。	第二就労継続Ｂ型	・自主製品の種類を増やすとともに販売を強化します。 ・仕入れ商品の販売を強化します。	２７年度までの営業、作業内容、工賃などの見直しを実施しました。第一第二それぞれの事業計画を作成しました。　　第一 ・自主製品を増やそうと検討しましたが、販売まではいたりませんでした。販売については、４月より熱田宮宿会に参加しはじめました。セルプセンターの企画に申し込みましたが、今年度の採用はありませんでした。 ・第一生活介護２８年度純利益　572,072円　継続Ｂ２７年度純利益　527,445円 ・ハンガーリサイクル作業の代替としてＣＤリサイクル作業を開始 第二 ・印刷関係で自主製品を増やそうと検討しましたが、商品企画のノウハウがなく結果が出せていません。 ・入札価格のラインを模索した結果、名古屋市より新規の受注を受けることができました。 ・せんべい売り上げ　643,863円　　粗利益177,713円　シアバター売り上げ　54,830円　　粗利益15,806円
			既利用者の工賃を上げるのも大きな課題です。	第一、第二就労継続Ｂ型、第二生活介護 第二生活介護 （生産活動あり）		
			販売促進が不十分です。			
		就職率、及び定着率の向上	就職者を輩出することで定員に空きが出やすいことが課題です。	第一就労移行支援	利用期間２年間で就職率１００％　うち１年間で５０％を目指します。 ６ヶ月以上の継続就労期間１００％を目指します。	就職するまでの平均利用期間は９ヶ月でした。７名就職し、現在も継続就労。ＪＣは６名の型が利用。２名の方はＡ型の利用を開始。
		ケース会議の充実	現在の個別支援計画の在り方を見直します。	第一就労移行、第一・二継続Ｂ型、第一・二生活介護	利用者のステップアップおよび状況の変化に速やかに対応し、適切な支援を行います。	第一Ｂ移行 ・毎月決まった日程で取り組むことが出来ました。訂正で再度作成する場合も、締め切りを決めたことで、期間が開かずに計画を利用者に渡すことが出来ました。 第一生活介護 ・毎月第３火曜日を個別支援会議とし実際に実施。一連の流れが職員に定着しました。 ・フェイスシート→全利用者対象にて作成。 ・ステップアップ会議にて４名が生産なしから生産ありへ様々な形態で移行実施。 第二 ・アセスメントシートにしたがって聞き取りを行うことで、支援の留意事項やポイントを明確化することができました。
		２４時間体制の整備	手話通訳者･要約筆記者の派遣において２４時間体制が整備されていません。	聴言センター	平成２８年度からの実施を目標に取り組みます。	当初予想していた形とは多少異なる部分もありますが、外部業者に一部委託することで平成２８年６月より事業実施できることとなりました。
		新規ヘルパーの確保 職員・ヘルパーの資質向上	他事業所と併用して活動するヘルパーも多く、新規ヘルパー登録の必要性は高い。 ヘルパー職員の資質向上、重度の利用者に対応できるヘルパーへの指導も必要です。	ヘルパーセンター	ガイドヘルパー資質向上研修の実施（年２回・全員対象） 新規ヘルパーに対する実習・個別指導を実施します。	研修会アンケートから「解りやすかった」「再確認できて良かった」と感想があり各ヘルパーの資質向上につながったと思います。ただ、講義のみで残念、実技と思っていたとの意見もありました。
３　法令遵守と透明性の確保	新会計基準		法令遵守を怠ることは、法人の信用を損ね、その事業を利用する方へも影響します。また、社会福祉法人は、公益性の高い法人であり、経営状態を公表し経営の透明性を確保していくことは重要な責務です。 社会福祉法人の情報は、福祉サービスの利用を希望する方にとって、サービスを選択する上で重要な判断材料となるため、経営等の透明性を確保することが重要となります。	法人本部	平成２６年度より移行しています。無駄を無くし、スムーズな運用を目指します。	経理担当者全員が研修に参加しさらに職員間で学習会を行ったことで知識を深めることができました。しかし経験の少ない職員や退職者がいたためスムーズな運用までには至っていないので更なる経験と知識の深化が必要です。
	組織体制			法人本部	組織体制や会計など透明性をはかります。	小口現金の取り扱いを各職員に理解してもらう必要があったため、職員会議時等に小口現金の取り扱い方法及びマニュアルがどこに保管されているかの周知徹底を図り浸透することができました。

重点計画事項			現状・課題	平成２７年度目標		平成２７年度取り組み結果
				担当部署	目　　標	
４　人材育成	人材育成の基本方針の策定		人材育成は当法人の健全な運営及び良質なサービスを提供するための取組の一貫として位置づけられます。短期的な即戦力の要請としてだけでなく、中長期的な組織基盤構築の方策として捉えられるため、人材育成を組織運営の視点でどのように取り組むのか整理します。	法人本部	・法人全体として抱えている課題（中長期的な課題）組織的課題について検討し、人材育成を取り巻く課題について整理します。 ・人材育成の仕組みについて検討します。	職業能力基準表を作成。完成系には至っていませんが、基準表をベースにしながら、事業計画を考える基礎的役割を担っています。
	階層別職員研修		平成２５年度より人材育成のため新たに機能別会議を開催し、一定の成果をあげ、またＱＣ活動を通じ、職員の問題解決力も高まっていますが、取り組み内容や方法については課題が残っている状況です。ただ、法人職員として必要な人権擁護・倫理・法人理解の研修、及び階層別（管理者・主任・正職員・嘱託職員・パート職員・新人）に応じた研修が実施されていない状況です。	法人本部	新人研修　　2回/年 管理職研修　　2回/年 パート研修　　1回/年 正規職員研修　2回/年 主任研修　　2回/年 現場研修　　1回/年	正規職員研修　２回/年（6･3月）　管理職研修(全国経営協・名北労働基準協会・ソウェルクラブ）　パート研修1月～2月にかけて4回　　主任対象研修（全国経営協・全社協）
	ＱＣ活動の強化			法人本部	ＱＣ発表会年１回開催	２７年度テーマ　①事務局－事務局職員の全体力向上②ヘルパー－派遣業務をスムーズに③聴言－フォルダ整理④第一移行・Ｂ－作業道具は探さない⑤第一生活介護－第三者評価受審へ変更⑥第二生活介護－送迎時間の短縮　活動終了⑦第二就労－中長期パイロット活動へ変更⑧基幹グループ研究－地域のネットワークづくり⑨相談グループ研究－質的研究法事例検討　⑩発表会は開催できていません。
	自己研鑽、研究活動			正規職員	一人一題	ＰＴやＱＣのなかで各自が研究に取り組みました。
	資格取得の促進		法人運営に必要とされる資格取得を促進すると共に、資格更新が必要なものに関して管理する事が求められています。	法人本部	・初任者研修１人以上/年受講 相談支援専門員の数を増加します。 ・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士等の有資格者を増やします。	資格管理表を作成し、全職員の保有資格や資格の有効期限についても視覚化できるよう整理しました。
５　収益性の向上	後援会の見直し		社会福祉法人は、社会福祉事業という公益性の高い事業を安定的・継続的に経営していくことが求められています。平成２２年度以降法人全体の当期活動収支差額は、順調に推移している一方で、それぞれの施設を見てみると、複数年に渡り赤字が継続している部門があります。平成２１年度に生じた収益事業の赤字補填の為、収益事業（旅行事業・売店事業）においては、継続的に収益を出していく必要があります。また、第一ワークスと福祉センターの大規模修繕及び消費税増税に向け、更なる経営基盤の強化が必要となります。	法人本部	後援会活動が十分でないため、外にむけての活動とともに進めます。	２７年度作品展の賞は城西福祉会さんが引き受けて下さいました。機関紙広告も安定して収入がありました。既存の後援会については事務局の受付机のパンフレットラックに入れて周知を図りましたが、増員はありませんでした。
	計画件数を常に意識した事業運営			相談・支援	・３年後の計画相談件数を意識した運営を行います。 ・相談支援専門員がケースを抱え込まない仕組みの強化します。 →相談部門内で事例内容を共有します。	６５歳以上の利用者数（２７年度末現在）第一相談　２５名／１４０名　第二相談　２０名／１３８名 介護保険への移行者数（２７年度）第一相談　　５名　第二相談　　５名 新規利用者数（２７年度）第一相談　　１６名　第二相談　　７名 同行訪問実施件数（２７年度）第一相談　　１３件　第二相談　　２０件
	各事業の重点実施事業	・利用率		第一生活介護	１日あたり利用者数２０名／定員２０名を目指します。 （前年度平均２２．４名）	２６年度平均利用率　１１１．３％　1日平均利用人数　２２．４名　２７年度平均利用率　１０３．７％　1日平均利用人数　２０．７名
		・利用率		第二生活介護	１日あたり利用者数４０名／定員４０名を目指します。 （前年度平均３５．９名）	２７年度実績　新規利用開始　８名生活介護生産なし→あり　２名（２８年４月より２名） 生活介護生産なし　週４日→５日　１名　　週２日→３日　２名　　週１日→２日　２名 生活介護生産なし　週３日→４日　１名　　週２日→３日　１名
		・利用率		第一就労継続Ｂ型	１日あたり利用者数２４名／定員２４名を目指します。 （前年度平均２５．２名）	南ハローワークから１名、リハセンから２名、就労移行でアセスメントを行った養護学校から２名利用開始した方がいます。
		・利用率		第二就労継続Ｂ型	１日あたり利用者数２０名／定員２０名を目指します （前年度平均１０．２名）	２７年度実績　　新規利用開始　２名　第一就労移行を通して就職　１名　生活介護生産あり→継続Ｂ　５名（２８年４月より１名） 継続Ｂ→生活介護生産あり　１名生活介護生産ありで利用日増の方　２名
		・利用率		第一就労移行支援	１日あたり利用者数６名／定員６名を目指します。 （前年度平均２．６名）	第二から２名、養護学校からアセスメント２名。後に一般就労を希望しており、体力等を見極めるためまずは第一継続Ｂ型利用開始。
		・講座開催数		聴言センター	２講座（７０時間）開講します。	「ろうネイティブコース」を２講座開講した。委託事業である「奉仕員養成」と「通訳者養成」の間をつなぐ講座として、手話学習者のニーズにも応えられた。あわせて、聴言センターとしての目標利益も達成できました。
		新規利用者、現利用者のサービス拡大		ヘルパーセンター	新規利用者２０名を目指します。	新規でヘルパーが７名登録しました。登録してあるものの、活動実績のないヘルパーに対し活動の意思確認を実施。２２名の辞退希望がありました。３月末時点で登録ヘルパー数１１７名。
		旅行センターの運営		事務局	名身連独自のツアーを充実します。　５回/年	お得意様がついて、旅程作成は月１～２本必ず取れています。バスアンケートの本格的な集計はまだですが、おおむね良い評価を頂いています。またバス会社との情報交換を密にし、安全快適な運行になるよう、名身連からも働きかけました。バス利用者の単発のいちご狩り手配など、新しい動きも見られます。

重点計画事項			現状・課題	平成２７年度目標		平成２７年度取り組み結果
				担当部署	目　　標	
６　中・長期計画	車両の買い替え		昭和５９年に名身連第一ワークスを開所、平成４年に名身連福祉センターを開所し、どちらの施設も経年劣化が進んでいる状況です。修繕については、長期計画を作成しておらず、故障個所をその都度修理しています。物品購入についても同様です。	法人全体	助成金・補助金で検討	名身連共通のルールを作り、計画的な管理を行うことを目的としてスタート。本部会館の建設、健身会館の引渡しにむけた、備品調達・廃棄・設備点検等契約準備。
	生産設備の導入			第一就労継続Ｂ型	延反機、自動裁断機の購入検討	ＥＶ取替え工事・駐車場設営工事。　購入が必要な備品のリストアップ。
				第二就労継続Ｂ型	印刷対応パソコンの入れ替えや点字プリンタの購入検討	修繕工事に向けた工事箇所及び購入が必要な備品のリストアップ。
	プロジェクト	中長期計画の策定	名身連の中期・長期計画がないため、今後の法人運営をふまえ作成する必要があります。	法人本部	中長期計画の基本計画を策定します。	中・長期計画作成にあたり今年度は、部分的に取り組み作成途中になっています。取り組んだ内容は、以下のとおりです。 組織全体について…第三者評価ＰＴ ※様々な規定の整備（各種ＰＴでの取り組みの成果） ※組織の仕組みの整備（マニュアル等） 人について…人材育成ＰＴ※研修※資格管理 物について…備品修繕ＰＴ 金銭について…経営ＰＴ 次年度は、これらを集約し中・長期計画の作成に取り組みます。
７　啓発および広報活動	プロジェクト	広報・啓発活動の強化	外部にむけての啓発および広報活動を活発化し、障害者理解を進めるとともに、人材確保の一助とします。	ホームページ	４月～現状分析・案作成 ８月～施行　１０月～実施	各セクションから担当者が参加して、共感を感じられるページ作りを念頭に内容を作り上げました。情報のバリアフリーなど技術的な内容も充実させ、新たに法人の魅力を伝えていくわかりやすく、伝わる工夫を行いました。
				広報（事務局・第一・第二生活介護）	４月～検討　８月～実施	
				講師派遣等（全体）	４月から随時 ２か月に１回は実施	年間を通じて、安定的に講師派遣を行いました。新しい動きとしては、障害者差別解消法の施行にあわせた名古屋市の職員研修に講師を派遣しました。また、市外の社協から依頼された点訳ボランティア養成講座を実施しました。２８年度も既に市場運輸、善常会、一宮社協が予定に入っています。

理 事 会 及 び 評 議 員 会

事　項	期　間	場　所	摘　　要
第９６回 評議員会	平成２７年 ５月２７日	名　身　連 福祉センター	１．平成２６年度事業報告（案） ２．平成２６年度全会計資金収支計算書（案） ３．平成２６年度全会計事業活動収支計算書（案） ４．平成２６年度全会計貸借対照表（案） ５．平成２６年度財産目録（案） ６．定款及び諸規程の変更（案） ①定款の変更（案） ②経理規程の変更（案） ７．本部会館備品の購入について（案）
第１１５回 理 事 会	平成２７年 ５月２８日	名　身　連 福祉センター	１．平成２６年度事業報告（案） ２．平成２６年度全会計資金収支計算書（案） ３．平成２６年度全会計事業活動収支計算書（案） ４．平成２６年度全会計貸借対照表（案） ５．平成２６年度財産目録（案） ６．定款及び諸規程の変更（案） ①定款の変更（案） ②経理規程の変更（案） ７．本部会館備品の購入について（案）
第９７回 評議員会	平成２７年 １１月２６日	名　身　連 福祉センター	１．諸規程の変更（案） ①給与規程の変更（案） ②経理規程の変更（案） ③熱田区障害者基幹相談支援センター運営規程の変更(案) ④名身連ヘルパーセンター運営規程の変更（案） ⑤名身連第一ワークス・第一デイサービス・名身連第二ワークス・第二デイサービス運営規程の変更（案）
第１１６回 理 事 会	平成２７年 １１月２７日	名　身　連 本 部 会 館	１．諸規程の変更（案） ①給与規程の変更（案） ②経理規程の変更（案） ③熱田区障害者基幹相談支援センター運営規程の変更(案) ④名身連ヘルパーセンター運営規程の変更（案） ⑤名身連第一ワークス・第一デイサービス・名身連第二ワークス・第二デイサービス運営規程の変更（案） ２．報告事項 ①役員改選について ②各施設の平成２７年度上半期報告

第９８回 評議員会	平成２７年 １２月２２日	名　身　連 福祉センター	１．役員改選について（案） ２．報告事項 ①前回理事会議題の給与規程について ②人事委員会（管理者登用試験、採用、退職等）について ③社会福祉法人改革について
第１１７回 理 事 会	平成２７年 １２月２５日	名　身　連 福祉センター	１．役員改選について（案） ２．報告事項 ①次回理事会について ②前回理事会議題の給与規程について ③人事委員会（管理者登用試験、採用、退職等）について ④社会福祉法人改革について
第１１８回 理 事 会	平成２８年 １月１２日	名　身　連 福祉センター	１．新理事長の選任について（案） ２．新常務理事の選任について（案） ３．報告事項 ①マイナンバーについて
第１１９回 理 事 会 第９９回 評議員会	平成２８年 ３月２９日	名　身　連 福祉センター	１．平成２７年度　全会計資金収支補正予算書（案） ２．平成２８年度　事業計画（案） ３．平成２８年度　全会計資金収支予算書（案） ４．諸規程の変更について（案） ①特定個人情報保護規程（案） ②就業規則の変更（案） ５．施設長の任命について ６．報告事項 ①社会福祉法人改革について ②産業医について

平成２７年度　会　務　報　告

期　　日	事　　項	場　　所
H27.4.24	協会長・部会長会議	名身連福祉センター
H27.5.10	第12回名古屋市障害者スポーツ大会 陸上競技・ﾌﾗｲﾝｸﾞﾃﾞｨｽｸ競技の部	瑞穂陸上競技場
H27.5.25～26	第60回日本身体障害者福祉大会宮崎大会	宮崎市
H27.5.27、28	理事・評議員会	名身連福祉センター
H27.6.7	第12回名古屋市障害者スポーツ大会　ｱｰﾁｪﾘｰの部	猪高緑地公園ｱｰﾁｪﾘｰ場
H27.8.11	第60回名古屋市身体障害者福祉大会代表者会議、協会長・部会長会議	名身連福祉センター
H27.8.19	第51回名肢体「登山大会」	若草山（奈良県）
H27.8.23	第12回名古屋市障害者スポーツ大会　水泳の部	障害者ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ
H27.8.29	第56回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会	北九州市
H27.10.4	障害者と市民のつどい・ｼﾃｨﾊﾝﾃﾞｨﾏﾗｿﾝ	栄・久屋大通公園
H27.10.11	第41回名視協文化祭	名身連福祉センター
H27.10.24～26	第15回全国障害者スポーツ大会	和歌山県
H27.10.28～30	第43回日身連中部ブロック身体障害者代表者会議 第19回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会	福井県
H27.11.3	第60回名古屋市身体障害者福祉大会	名古屋市中区役所ホール
H27.11.15	第12回名古屋市障害者スポーツ大会　卓球の部	障害者ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ
H27.11.26、27	理事・評議員会	名身連本部会館
H27.11.29	名聴言協第12回なごや手話フェスティバル	北文化小劇場
H27.12.6	障害者週間記念のつどい	名古屋市中区役所ホール
H28.12.22	評議員会	名身連福祉センター
H28.12.25	理事会	名身連福祉センター
H28.1.12	理事会	名身連福祉センター
H28.2.5	政令指定都市団体長会議	神戸市
H28.2.9～2.14 H28.2.14	第50回名古屋市障害者作品展示会 第50回名古屋市障害者作品展示会授賞式	名古屋市博物館
H28.3.1～3.17	第36回「福祉の店」	ﾅｺﾞﾔﾄﾞｰﾑ前ｲｵﾝ他　全5会場
H28.3.29	理事・評議員会	名身連福祉センター

第６０回名古屋市身体障害者福祉大会

身体障害者福祉の諸問題について協議を行い、今後の運動方針を確立するとともに、身体障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る大会を下記のとおり開催しました。

第６０回の記念大会は、永年勤続団体育成特別功労者も含めた２７名ならびにボランティア２団体が表彰されました。また、８月の代表者会議で協議した要望事項に沿って、大会宣言および大会決議を発表しました。第二部のアトラクションではバリアフリー映画の上映および抽選会を行い、例年より多くの来場者がありました。

日時　平成２７年１１月３日（火・祝）

場所　名古屋市中区役所ホール

第一部　式典

・名古屋市長表彰（自立の模範となる者）２名
・名古屋市長表彰（援護功労者）５名
・名古屋市長感謝状（永年勤続団体育成特別功労者）３名
・名古屋市社会福祉協議会長感謝状（永年勤続団体育成特別功労者）６名
・名古屋市身体障害者福祉連合会会長表彰（自立更生者）６名
・名古屋市身体障害者福祉連合会会長表彰（援護功労者）２名
・名古屋市身体障害者福祉連合会会長感謝状（内助功労者）３名
・名古屋市身体障害者福祉連合会会長感謝状（ボランティア）２件
・大会宣言及び大会決議の朗読

参加　２４６名

・各区協会・部会　　１６６名
・議員・行政関係者・職員　　５３名
・一般・ボランティア　　２７名

第二部　アトラクション

抽選会、バリアフリー映画上映

福祉大会会場　舞台上の様子

会場の様子

第５０回名古屋市障害者作品展示会

障害者が制作した作品を一堂に展示し、障害者自身の能力開発、創作意欲の高揚、技術の練磨を促進し、広く一般社会に認識と啓蒙を図ることを目的として開催しました。第５０回を迎えた今回は、出品者数、来場者数とも昨年より大幅に増加し、障害者の社会参加や芸術活動の機会として、広く浸透してきたことを感じさせる展示会となりました。

名古屋市長賞は、絵画の部で北区身障協会の佐藤ケイ子さんが受賞しました。

１．展示期間　　平成２８年２月９日（火）～２月１４日（日）（６日間）

２．会　　場　　名古屋市博物館　３Ｆギャラリー　第１・２・３・８室
住所　名古屋市瑞穂区瑞穂通１－２７－１

３．各部出品数

第１部　書　道	６６点
第２部　絵　画	１２２点
第３部　写　真	３４点
第４部　手　芸	５８点
第５部　工　芸	４５点
合　計	３２５点

４．最高年齢出品者　　８４才　（肢体）

５．最小年齢出品者　　４才　（聴覚）

６．障害別出品者数　　単位：人

	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	精神	重複	その他・不明	計
書　道	３９	２	１３	１	７	１	２	１	６６
絵　画	４３	５	１６	０	３４	８	１０	０	１１６
写　真	２１	２	２	１	６	１	１	０	３４
手　芸	２１	５	９	１	６	２	２	０	４６
工　芸	１５	１５	７	０	２	１	０	１	４１
計	１３９	２９	４７	３	５５	１３	１５	２	３０３

７．期間中の入場者数

２月　９日（火）	１２４人
２月１０日（水）	１６９人
２月１１日（木）	２２０人
２月１２日（金）	２１１人
２月１３日（土）	１２８人
２月１４日（日）	２４３人
合　計	１０９５人

審査会の様子

市長賞受賞作品

オストメイト社会適応訓練事業

名古屋市委託事業　　年４回開催　合計 131 名参加				
8	2	初心者学習会 「暑い時期のストーマの工夫」 ET・WOCN　作間久美先生(医療顧問)	名身連 福祉センター (中村公園)	9 名
10	4	特別講演会 「3.11 東日本大震災と福島原発事故の被災体験から学ぶ (その時と今)」 岩崎真澄先生　皮膚排泄ケア認定看護師(総合南東北病院) 前川厚子先生(医療顧問) 佐久間久美先生(医療顧問)	ヤガミホーム ヘルスセンター	77 名
12	5	体験交流会:生活の不安について 相談員 前川厚子先生(医療顧問) 作間久美先生(医療顧問) 岡庭恵子　皮膚排泄ケア認定看護師(名古屋大学付属病院)	ヤガミホーム ヘルスセンター	31 名
1	24	障害者のための確定申告と納税相談 税理士　荒川俊夫(支部役員) 細野美代子　皮膚排泄ケア認定看護師(春日井市民病院) 中村加純　皮膚排泄ケア認定看護師(稲沢厚生病院)	ヤガミホーム ヘルスセンター	21 名
日本オストミー協会団体事業				
6	13,14	H27 年度全国大会 奈良大会	奈良県文化会館 奈良県新公会堂	3 名
10	31	東海ブロック会議 (本部役員と東海４県の代表者による連絡会議)	ヤガミホーム ヘルスセンター	5 名

盲青年等社会生活教室事業

１　期　　間　　自　平成２７年４月　１日
　　至　平成２８年３月３１日
２　人　　数　　延べ　８８４名
３　課　　目　　３課目　（１１講座）４０回
４　時　　限　　４３時限　（３９日）
５　会　　場　　名身連福祉センター、名古屋盲学校、名古屋市障害者スポーツセンター
　　名古屋盲人情報文化センター他
６　主　　管　　名古屋市視覚障害者協会
７　代 表 者　　田中　伸明
８　講　　師　　１８名
　　酒井　太輔、岡本　典子、花木　淳美、近藤　よし恵、綱川　泰典、酒井　亮
　　大澤　麻衣子、林　香織、荒川　明宏、大田　浩子、丸山　由紀江、原木　庄助

　　※　補助講師　７名　　ボランティア　延べ４１名

盲青年等社会生活教室　　実施プログラム

実　施　日	課　　目	講　　師	会　　場	受講者数
一　　般　　教　　養				
6/6(土)	ボランティア交流会		名身連福祉ｾﾝﾀｰ	15名
12/5(土)	ボランティア交流会			11名
社　　会　　教　　養				
5/24(日)	講演会「遺産相続と相続税」	酒井　太輔	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	32名
6/21(日)	バリアフリー映画上映会	岡本　典子	名古屋ピカデリ　スクリーン２	127名
/30（日）	第16回視覚障害者の生活を考える会	花木　淳美	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	９0名
9/12(土)	第６１回全国盲青年研修大会		広島県津島市	50名
/11（日）	第４１回名視協文化祭	近藤　よし恵 綱川　泰典 酒井　亮	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	104名
/29（日）	ブレイルメモスマート体験会	大澤　麻衣子 林　香織	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	12名
1/11(日)	盲青年等研修会		古井の天狗山(岐阜県)	29名
2/11(火)	第17回視覚障害者の生活を考える会	荒川　明宏	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	80名
一　　般　　教　　養				
6/6(土)	ボランティア交流会		名身連福祉センター	15名
12/5(土)	ボランティア交流会			11名

体　育　講　座					
5/14(木)	サウンドテーブルテニス教室	第1回	大田　浩子	名古屋市障害者スポーツセンター	6名
6/4(木)		第2回			7名
7/2(木)		第3回			8名
8/6(木)		第4回			7名
9/3(木)		第5回			7名
10/1(木)		第6回			9名
11/5(木)		第7回			6名
12/3(木)		第8回			5名
4/12(日)	フロアバレーボール教室	第1回	丸山　由紀江	名古屋盲学校	13名
5/10(日)		第2回			13名
6/14(日)		第3回			12名
7/12(日)		第4回			13名
8/14(日)		第5回			14名
9/13(日)		第6回			13名
10/25(日)		第7回			15名
11/14(日)		第8回			12名
12/6(日)		第9回			13名
1/24(日)		第10回			13名
2/7(日)		第11回			14名
4/27(月)	盲人将棋大会	第1回	厚木　庄助	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	12名
5/24(日)		第2回			9名
6/22(日)		第3回			10名
7/26(日)		第4回		名古屋盲人情報文化センター	13名
8/24(月)		第5回		名身連福祉ｾﾝﾀｰ	13名
9/28(月)		第6回		ピアザ淡海(大津市)	14名
9/29(火)					
10/26(日)		第7回		名身連福祉ｾﾝﾀｰ	13名
11/22(日)		第8回			12名
12/28(月)		第9回			10名
1/24(日)		第10回			15名
2/22(月)		第11回		名古屋盲人情報文化センター	13名

盲女性家庭生活訓練講座事業

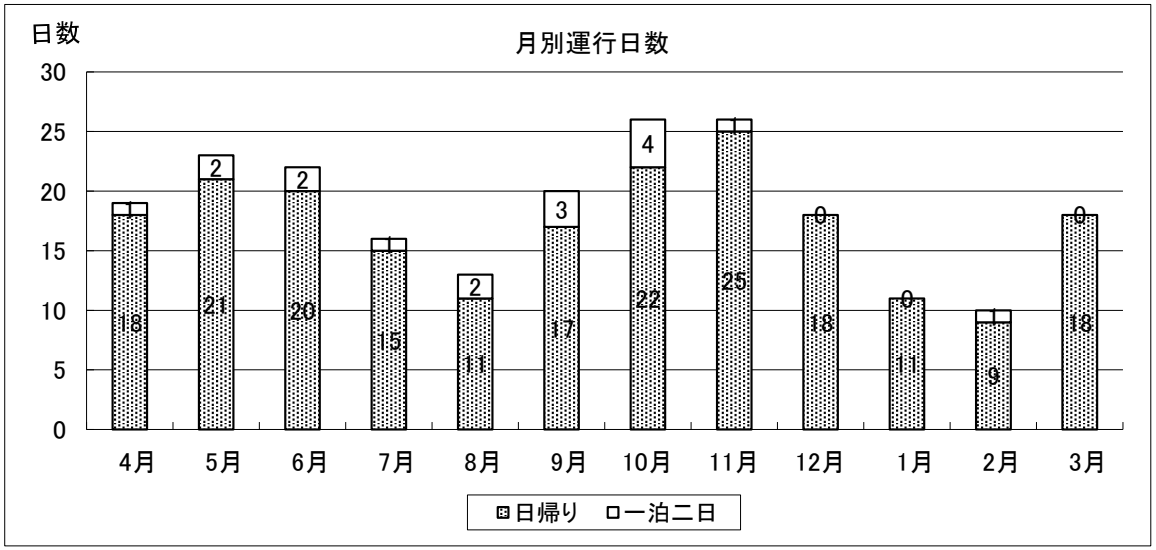
１　期　　間　　自　平成２７年４月　１日
　　至　平成２８年３月３１日
２　人　　数　　延べ　２０９名
３　課　　目　　３課目　（９講座　１１回）
４　会　　場　　名古屋市障害者スポーツセンター、名身連福祉センター　他
５　主　　管　　名古屋市視覚障害者協会
６　代 表 者　　田中　伸明
７　講　　師　　５名
　　南澤、香月、大澤、網川、山田
　　※　ボランティア　２２名

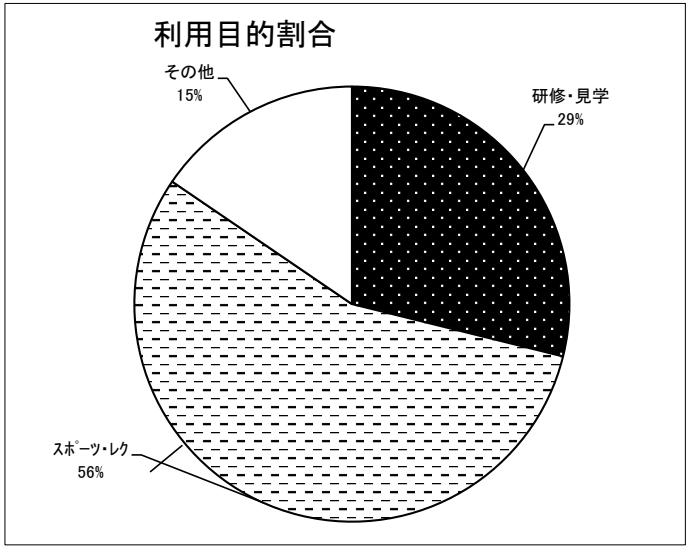
盲女性家庭生活訓練講座　　実施プログラム

実　施　日	講　座　名		内　容	講　師	会　場	受講者数
一　般　生　活						
5/17（日）	開講式、寄植		観葉植物の寄植	南澤	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	15名
6/11（木）	社会研修		華すし作り		鬼岩温泉	15名
7／１９(日)	健康体操		健康体操	香月	障害者スポーツセンター	9名
9／１３(日)	近頃の携帯事情		ガラケーとスマホ	大澤	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	21名
／１０(日)	針と糸を使って		ポシェット	山田	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	9名
2／１４(日)	閉講式　針と糸		ポシェット	山田	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	9名
残　存　機　能　回　復　訓　練						
12/27（日	フラワーアレンジ	午前	正月花	南澤	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	7名
12/27（日	フラワーアレンジ	午後	正月花	南澤	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	8名
一　般　教　養						
10/11（日)	文化祭		マナー、フルート	網川	名身連福祉ｾﾝﾀｰ	104名
11/23（月)	料理教室		ハッシュドビーフ	南澤	障害者スポーツセンター	14名

平成２７年度　福祉バス乗車実績報告

月	団体種別				運行日数	利用団体数	日帰り	一泊二日	利用人員				利用目的		
	身体	知的	精神	その他					障害者	（車いす）	介助者	合計	研修・見学	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	その他
4月	10	3	7	0	20	20	18	1	403	80	220	623	3	14	3
5月	15	4	3	3	25	25	21	2	495	76	284	779	5	15	5
6月	13	4	3	2	24	22	20	2	373	49	212	585	11	11	2
7月	8	3	3	2	17	16	15	1	367	36	162	529	8	7	2
8月	5	11	0	0	15	16	11	2	281	10	188	469	3	10	2
9月	15	1	3	3	23	22	17	3	396	66	199	595	6	12	5
10月	20	3	4	3	30	30	22	4	311	89	250	561	8	18	4
11月	14	6	4	3	27	27	25	1	486	59	303	789	8	18	1
12月	10	2	5	1	18	18	18	0	346	21	152	498	4	9	5
1月	8	2	2	0	11	12	11	0	214	17	155	369	5	4	2
2月	5	1	2	1	11	9	9	1	192	9	91	283	3	6	2
3月	11	2	3	2	18	18	18	0	375	18	135	510	5	9	4
合計	134	42	39	20	239	235	205	17	4,239	530	2,351	6,590	69	133	37

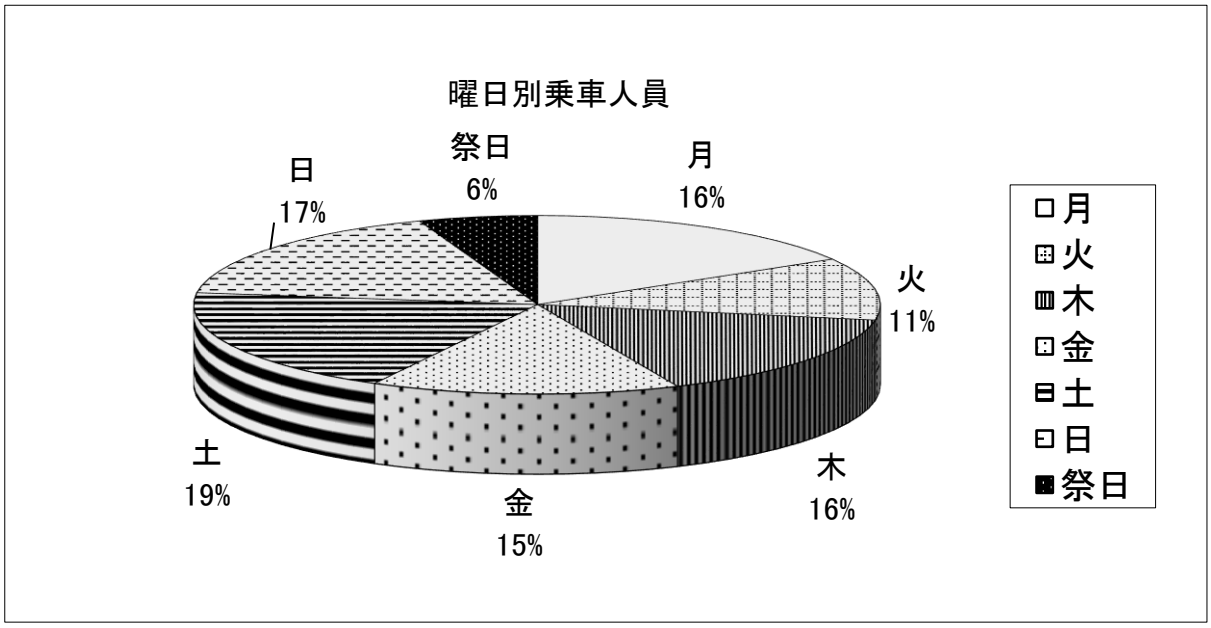




平成２７年度　サンサン号乗車実績報告

月	乗車人数	運行日数	１日平均
4	609	25	24
5	465	22	21
6	607	26	23
7	510	24	21
8	970	27	36
9	712	22	32
10	741	25	30
11	797	23	35
12	773	23	34
1	764	23	33
2	882	24	37
3	922	25	37
合　　計	8,752	289	30

平成２７年度	8,752	289	30



曜日別乗車人員　　平成２７年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月	98	55	152	63	149	79	102	162	149	93	215	126	**1443**
火	63	35	84	41	112	72	60	72	115	99	135	101	**989**
木	95	59	112	111	100	97	170	95	100	136	98	189	**1362**
金	99	70	82	80	112	78	126	125	101	150	110	135	**1268**
土	100	146	105	112	169	150	139	153	135	138	166	174	**1687**
日	128	36	72	63	328	140	107	109	143	111	129	148	**1514**
祭日	26	64	0	40	0	96	37	81	30	37	29	49	**489**
計	**609**	**465**	**607**	**510**	**970**	**712**	**741**	**797**	**773**	**764**	**882**	**922**	**8752**

名身連ジョブコーチ事業支援実績報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

【ジョブコーチ活動回数】　・ジョブコーチ2名体制

活動月		活動日数
平成27年	4月	0　日
	5月	0　日
	6月	0　日
	7月	5　日
	8月	4　日
	9月	4　日
	10月	3　日
	11月	4　日
	12月	2　日
平成28年	1月	1　日
	2月	4　日
	3月	5　日
計		32　日

【ジョブコーチ支援対象者】

	身体	知的	精神	計
男性	4	1	4	9
女性	1	1	1	3
計	5	2	5	12

平成２７年度名身連ヘルパーセンター事業報告

＜利用者について＞

平成２７年度の利用者の新規契約は２２名（うち市外１名、県外３名）でした。２２名中１５名は、各区支援センター、介護保険事業所、サービス付き高齢者住宅からの申し込みで、うち４名は介護保険で不足するサービスを希望しての契約でした。また、障害者基幹相談支援センターからの紹介で、これまで受け入れのなかった精神障害の利用者２名と契約し、ヘルパー派遣を開始しました。

一方、身体状況の変化や施設入所等の理由で、今後派遣の利用が見込めない利用者との間で、契約辞退の手続きを行いました。

結果として、３月３１日末現在、２５５名（うち市外４名、県外９名）の利用者が登録しています。

利用者の申し込みの内容の特徴としては、施設や病院などへの送迎が多く、１回１時間未満の利用が２割を超えています。また、季節やカレンダー、行事開催により利用件数に大きな変動があり、件数が多い日では、派遣のコーディネートに困難が生じました。

＜ガイドヘルパーについて＞

平成２７年度新規登録したガイドヘルパーは７名でした。一方、登録更新時に、長期間活動実績のないガイドヘルパーに今後活動する意思の有無を確認し、２２名のガイドヘルパーの辞退手続きを行いました。その結果、現在１１７名のガイドヘルパーおよび職員が登録しています。

不足しているガイドヘルパー獲得のため、就職説明会を通して申し込みのあったヘルパー希望者に、説明会と実習を行ってきました。

また、現在活動中のガイドヘルパーの資質向上にかかる取り組みとしては、登録ヘルパー全員を対象とし、研修会を二回開催しました。同行援護サービスの開始以前に研修を受けたヘルパーが大多数のため、研修会では、名古屋市総合リハビリテーションセンターから歩行訓練士を招き、同行援護サービス開始時に新たに加えられた内容も盛り込みました。

派遣件数

月	同行援護	居宅介護	重度訪問介護	移動支援	計
4	1,061	12	82	111	1,266
5	964	10	72	85	1,131
6	1,028	14	89	96	1,227
7	1,011	12	100	117	1,240
8	955	10	91	97	1,153
9	900	12	94	92	1,098
10	1,036	12	106	106	1,260
11	1,005	13	102	87	1,207
12	987	12	89	67	1,155
1	884	12	79	69	1,044
2	972	14	91	91	1,168
3	1,006	12	94	106	1,218
合計	11,809	145	1,089	1,124	14,167

平成27年度解約者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
同行援護		3		1		1	1	2	2	3	1	1	15
重度訪問介護				1									1
居宅介護													0
移動支援									1				1

平成27年度新規契約者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
同行援護	1	2		2	1	2	3	3	1	1	1	1	18
重度訪問介護	1		1										2
居宅介護				1									1
移動支援										1			1

平27年度　　利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
同行援護	140	141	140	140	142	143	144	143	141	139	136	135	140.3
他市同行援護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
重度訪問介護	15	16	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16.0
居宅介護	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	5	3.8
介護計	159	161	160	161	163	164	165	164	162	160	158	157	161.2
移動支援	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	13	13	12.9
合計	172	174	173	174	176	177	178	177	175	172	171	170	174.1

平成27年度　　総請求額

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
同行援護	9,087,331	8,788,593	9,021,962	8,695,212	8,285,531	7,940,206
重度訪問介護	598,995	481,932	573,234	545,438	553,681	546,660
居宅介護	31,912	25,834	37,530	31,087	30,208	32,157
同行援護他市	14,407	35,438	22,426	19,982	60,867	43,984
介護計	9,732,645	9,331,797	9,655,152	9,291,719	8,930,287	8,563,007
移動支援	443,100	312,670	366,470	435,520	376,700	332,780
介護計＋移動	10,175,745	9,644,467	10,021,622	9,727,239	9,306,987	8,895,787

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
同行援護	9,280,629	90,011,529	8,903,004	7,796,841	8,525,039	9,022,385	185,358,262
重度訪問介護	583,525	624,989	520,168	468,907	533,517	576,803	6,607,849
居宅介護	30,187	33,938	31,130	30,187	36,726	30,187	381,083
同行援護他市	64,630	82,329	55,646	158,515	125,894	68,017	752,135
介護計	9,958,971	90,752,785	9,509,948	8,454,450	9,221,176	9,697,392	193,099,329
移動支援	400,970	331,670	258,400	259,720	316,000	408,400	4,287,000
介護計＋移動	10,359,941	91,084,455	9,768,348	8,714,170	9,537,176	10,105,792	197,386,329

平成２７年度名身連第一ワークス・第一デイサービス事業報告のポイント
（就労移行支援事業所）

今年度は１０名（定員６名）の方に支援を行いました。実績として就職者６名、復職１名、就労継続支援Ａ型２名で、就職率は１００パーセントでした。全員現在も就労を継続しています。

就職した方の内６名の方が法人内のジョブコーチ支援を利用しました。今年度は養護学校卒業後の職歴の無い若年者も生活介護から継続Ｂ型とステップアップして在宅就労した方もいました。

在宅就労では、就業先が自宅ということもあり、実際の現場支援に入りにくいため指定相談事業所と連携して支援を行いました。

一方で契約更新されないケースもあり、制度の都合上施設利用が出来ないため、基幹支援センターや指定相談支援事業所と連携して再支援を行いました。今後も同じようなケースが出ないとも限らないため、支援の体制を整える課題が残りました。

報告

個別支援計画について

就労移行では、年４回個別支援計画を作成しますが、今までは利用者からのニーズが上手く聞き取り出来ていない部分があり、利用者の状況の変化に速やかに対応し適切な支援を行うような目標を立てました。結果継続支援Ｂ型と共同で毎月個別支援会議を行うことで、昨年度より利用者の変化やニーズを取り上げ支援が出来ました。

就職率、６ヶ月以上の継続就労期間について

利用期間２年間で就職率１００％、就職後６ヶ月以上の定着就労期間１００％を目標に取り組みを行いました。平均利用期間は８ヶ月。就職後６ヶ月以上の定着就労は１００％です。

１日あたりの利用者数について

就労移行は就職していくため、常に利用者確保が必要となります。新規利用開始は３名でした。

２７年度から養護学校から継続Ｂ型利用時のアセスメントの他に、現在生活介護から継続Ｂ型へ移行する場合も就業経験が無い場合は、アセスメントを行うことになりました。アセスメント依頼は４名で内２名が第二ワークス・第二デイサービスの利用者、２名は養護学校からの依頼で２名とも就職を目標として、現在就労継続Ｂ型の利用を開始しました。

１日あたりの利用者数６名（定員６名）を目指すことを目標としましたが、年間平均利

用は２．６名でした。今後も関係機関への連携を強化し、法人内で取り組む利用者確保やステップアップのプロジェクトと協力し、利用者確保を行います。

平成２７年度名身連第一ワークス・第一デイサービス事業報告
（就労移行支援事業所）

今年度は１０名の方に対し企業紹介１０３件を行い、７名の方が一般企業に就職しました。職種としては、２名は事務補助や販売の品だし、２名は軽作業、２名は介護補助、１名は事務補助です。現在も定着しています。

そのうち６名は法人内のジョブコーチ制度も利用し支援を継続しています。就職がゴールではなく、安定して働き続けることができるように定着支援にも重点をおいています。一方、２５年度に退所した方の就職先の事業所からが今年度契約更新しないと昨年度に連絡がありました。そのため当法人の基幹支援センターと指定相談支援事業所と連携し、退所後のフォローアップとして再支援することになりました。その結果、体力を低下させないために一旦Ａ型の利用を開始しました。今後の課題として、事業所では就職した後に年々スキルアップを求められるため、それに応えることが困難な利用者について今後どのように対応するかを検討する必要があります。

また昨年度は、生活介護から継続Ｂ型を経て就労移行を利用し、在宅就労で就職された方もみえます。

就労移行事業における課題として、就職に伴う定員割れが大きな問題となっています。今年度は法人内でプロジェクトチームを作り、第一、第二合同でステップアップできるような支援体制を作り、第二ワークス・第二デイサービスの生活介護から継続Ｂ型へ移行するためのアセスメント評価を２名行い、就職希望があった２名については、就労移行と第二の継続Ｂを併用利用し１名の方が就職しました。

また就労移行の就職率１００％や少人数制で手厚い支援を行っている特長や実績について回復期病院や特別支援学校に今後も引き続きＰＲをして広く周知する必要があります。

他機関との連携では職業安定所はもちろんのこと、愛知障害者職業センター、障害者就労支援センターめいりは、基幹支援センター等と連携し支援を行い、求職活動や生活支援に至るまでの支援を連携して行うことができました。これらの連携は、これまでと同様引き続き継続して行っていきます。

就労移行支援事業　定員6名　（名身連第一ワークス・第一デイサービス）

1．居住区の状況（H28．3．31現在）　（単位：人）

居住地名									
千種	0	中　村	0	熱　田	0	守　山	0		
東	0	中	0	中　川	0	緑	1		
北	0	昭　和	1	港	0	名　東	0		
西	0	瑞　穂	0	南	0	天　白	0		
計						市内	2	市外	0

2．月別登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	7	7	8	7	6	7	4	3	3	4	3	2

3．月別新規登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0	0	7
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0	0	7

4．月別登録辞退者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	3	1	0	3	1	0	0	1	1	1	11
女	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
計	0	0	3	2	0	4	1	0	0	1	1	1	13

5．辞退理由　（単位：人）

	他施設	死亡	その他	計
男	6	0	5	11
女	1	0	1	2
計	7	0	6	13

6. 年齢・等級別状況　（単位：人）

等級	1		2		3		4		5		6		その他		計		合計
年齢＼性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
20歳未満															0	0	0
20～24歳															0	0	0
25～29歳															0	0	0
30～34歳													1		1	0	1
35～39歳															0	0	0
40～44歳															0	0	0
45～49歳	1														0	0	0
50～54歳															0	0	0
55歳以上															0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2

※その他については精神手帳、愛護手帳

平均年齢

男　性	38　歳
女　性	歳
男女平均	38.0　歳

障害程度区分　（単位：人）

区　分	人数
6	
5	
4	
3	
2	
1	1
未認定	1
計	2

7. 障害原因別区分　（単位：人）

	区分						
	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	計
男	1	0	0	0	0	1	2
女	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	1	2

8. 手帳所持状況　（単位:人）

愛護 / 身障	1度	2度	3度	4度	なし	精神	計
1級					1		1
2級							0
3級							0
4･5･6級							0
なし						1	1
計	0	0	0	0	1	1	2

9. 学歴状況　（単位:人）

学歴	小･中　卒	高卒	養護･聾卒	短･専門大卒	不明	計
計			1	1		2

10. 登録前歴状況　（単位:人）

前歴	在　宅	学生	他施設	就労者	計
計			2		2

11. 年金受給状況　（単位:人）

種類 / 性別	国民年金 障害基礎年金	厚生年金 障害年金	なし	計
男	1		1	2
女				0
計	1	0	1	2

12. 配偶者の有無　（単位:人）

状況 / 性別	有	無	計
男		2	2
女			0
計	0	2	2

13. 補装具使用状況　（単位：人）

種類 性別	車いす	車いす ＋ 装具	杖	杖 ＋ 装具	装具	なし
計	1	0	0	0	0	1

14. 通所方法　（単位：人）

等級 交通機関	1	2	3	4	5	6	なし	計
地下鉄	1						1	2
市バス								0
地下鉄と市バス								0
地下鉄と その他交通機関								0
名鉄								0
JR								0
2つ以上 の交通機関								0
家族及びヘルパーによる送迎								0
リフトタクシー								0
タクシー								0
車いす自走								0
徒歩								0
自転車・徒歩								0
自家用車								0
計	1	0	0	0	0	0	1	2

15. 通所時間　　（単位:人）

所要時間	計
30分未満	1
30分～39分	1
40分～49分	0
50分～59分	0
1時間～1時間09分	0
1時間10分～1時間19分	0
1時間20分以上	0
計	2

16. 登録期間の状況　　（単位:人）

期間 / 性別	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	計
計	1	1		2

17. 年度別退所者数　　（単位:人）

年度	23	24	25	26	27	計
計	4	6	9	12	13	44

18. 現在までの退所理由（過去5年間）　　（単位:人）

理由 / 性別	就職	他施設	その他	計
男	16	12	1	29
女	5	8	2	15
計	21	20	3	44

19. 工賃支払状況　　（単位：円）

	４月	５月	６月	期末手当	７月	８月	夏期手当	９月
人　　数(人)	7	7	7		6	6	5	6
支払人数(人)	7	7	7		6	6	5	5
当月支払額	12,880	28,840	20,720		16,540	14,060	75,000	12,260
一人当平均支払額	1,840	4,120	2,960		2,757	2,343	15,000	2,452
最高支払額	2,540	5,000	3,960		4,000	3,280	17,920	3,700
最低支払額	1,100	2,480	740		1,400	2,400	11,430	540
出席率（%）	61.5	79.1	67.5		62.9	55.6		53.5
稼働日数(日)	13	26	22		22	21		19

	１０月	１１月	１２月	冬期手当	１月	２月	３月	計
人　　数(人)	3	3	3	3	4	3	2	65
支払人数(人)	2	2	2	2	3	2	1	57
当月支払額	7,100	6,760	2,780	30,000	9,160	4,640	4,000	244,740
一人当平均支払額	3,550	3,380	1,390	15,000	3,053	2,320	4,000	4,294
最高支払額	4,200	3,800	2,000	15,368	4,300	3,740	4,000	77,808
最低支払額	2,900	2,960	780	14,632	1,460	900	0	43,722
出席率（%）	57.1	59.6	42.4		44.2	38.3	45.5	55.7
稼働日数(日)	21	19	11		26	20	22	242

※人数→月末に在籍在籍していた人数を記載しています。
※出席率が低い月は、トライアル雇用中に在籍しており通所していないため。
※最低支払額は通所日数が少なく、時間が短いため。

平成２７年度第一ワークス・第一デイサービス事業報告ポイント
（就労継続支援Ｂ型）

ポイント
利用者の状況としては、２９名（定員２４名）で定員を満たしています。取引先の企業からの依頼で専門学校へ行き話をしたり、毎年関わらせていただいているリ・デザインプロジェクトの関係で、他の事業所の方や製品をデザインした学生と話をすることで、作業に対する意欲の向上が出来たと思われます。
一般就労を目指す利用者の方がステップアップとして就労移行支援事業者に１名移行しました。

報告

個別支援計画について
　年２回個別支援計画を作成しますが、今までは利用者からのニーズが上手く聞き取り出来ていない部分があり、今年度より誕生日月に計画を作成し、半年経過した際にモニタリングを行うことで、利用者のニーズを把握しステップアップや変化に速やかに対応できるよう目標を立てました。結果毎月個別支援会議を行うことで、昨年度より利用者の変化やニーズに気付ける支援を行うと同時に、職員間でのケース検討も出来ました。

自主製品の販売について
　今年度よりあつた宮宿会、イオン千年店、熱田区役所での販売を開始しました。金山駅での福祉の店や互助会等のバザーには積極的に参加してきました。今後も更なる販売収入を得るため、販路の拡大をしていく必要があります。

作業、工賃について
　縫製・軽作業ともに新規取引を開始した事業所もありますが、作業内容によっては１つあたりの単価が安いものが多く、また製品に求められるクオリティが高くなり、納期の短いものも多数ありました。縫製については、価格の調整や利益率の高い作業を開拓し工賃向上を目指しました。
平成２７年度の一人当たりの１ヶ月の支払平均工賃は約１６，０００円で、平成２６年度より約３，０００円増加しました。

１日あたりの利用者数について
　今年度の新規利用開始者は７名で、就労移行事業や体調不良等で退所された方が５名

でした。年間平均利用は２１．８名で、３月末での登録人数は２９名と定員を超えていますが、今後就労移行や生活介護、他事業所の利用を希望される方がいるため、定員割れする可能性があります。新たに介護保険の関係者や医療関係の方に介護保険には無い就労サービスを知っていただき、利用者の確保を目指しました。今後も引き続き連携を取れるようにしたいと考えています。

平成２７年度名身連第一ワークス・第一デイサービス事業報告

（就労継続支援Ｂ型事業）

＜生産活動について＞

・現状

　就労継続支援Ｂ型では、月の純利益を毎月の売り上げ目標に設定し、縫製、裁断、軽作業、販売の各部門で見直しを行い、できることから一つ一つ改善を図ることで売上げにつなげていきました。

　以下は、各作業の詳細を報告します。

１．従来からの作業継続について

　縫製作業では、例年受注のある専門学校、昨年度から取引の始まったエプロンは昨年とほぼ同じ受注量でした。

また以前から取引をしている企業が、店舗をオープンすることになり、昨年度よりも注文をたくさんいただきました。また縫製が追いつかないとの理由で以前取引のあった企業からも期間限定でしたが受注を行いました。

　設備面での問題点として、延反機、裁断機の老朽化がありますが、コストパフォーマンスを発揮しきれていないため、設備投資するかは引き続き今後の課題となっています。併せて年度末に縫製を行う利用者の増加に伴い、ミシンの購入についても検討を開始しました。

　軽作業では、新規企業との取引の開始がありました。従来の取引業者への営業も強化したことで、売上げは昨年と同様となりました。

　販売作業では、今年度月１回、基幹支援センターの主催でイオン、熱田区役所主催の販売会を開始しました。また、あつた宮宿会にも参加し、毎月１日に熱田神宮での販売も開始しました。金山総合駅での福祉の店や互助会等のバザーにも積極的に参加してきました。今後も更なる販売収入を得るため、販路の拡大をしていく必要があります。

２．作業利益の見直しについて

　各作業の利益率の算出を実施し、現行の取引業者と調整を行い、利益につながる作業や、利益率の高い作業を新規開拓しました。

３．自主製品の開発、販売について

　「招き猫シリーズ」は取引業者から名古屋城やセントレア等に卸をしている企業を紹介していただき現在販売可能かどうか調整を行っています。

・福祉用具製作・販売
　今年度も国際福祉機器展に車いす用レインウェア、食事用エプロンを出展し、販売しました。

・保育園通園バッグ、卒園記念品の製作・販売
　市内保育園から年間４００枚ほど安定して受注しています。今年度は、他施設の紹介で新たに取引できる保育園２箇所も増えました。今後もさらに連携し、園内のイベントの記念品や園内の縫製品の受注ができるようにしていきたいと思います。

＜利用者状況及び支援活動について＞

４月当初就労継続支援Ｂ型の利用者は２７名でしたが、３月末時点では２９名の登録となりました。他機関との連携を強化することで、７名の新規利用者を迎えることができました。また、就労移行事業やＡ型へのステップアップ等で５名の退所者がありました。

１．一人一人のニーズに沿った支援を行う

一人一人の障害状況や年齢、およびニーズに合わせた支援が行えるように努めました。その結果、作業場面や生活場面でひとりひとりのできることが増えるようになりました。

２．作業活動への支援

各自の障害状況や体調に合わせ、作業の提供を行いました。作業面においても縫製の技術向上や軽作業でできることの幅を広げるように支援をしました。その他、取引業者からの依頼で、実際に学校等を訪問、見学、話をさせていただいたことで、作業に対する意欲の向上や就労へのイメージ作りにつながりました。また、施設玄関にて親愛の里と共同で毎月第２、第４火曜日にバザーを開催し、販売員として直接お客様とやり取りをすることで、仕事の意識向上、イメージ作りともなりました。

３．地域の支援機関や特別支援学校との連携、交流

新規利用者の受け入れに向け、施設のＰＲや連携を積極的に行いました。また、希望に応じて見学や実習を受け入れ開かれた施設運営を目指しました。さらに毎年秋に開催されます「あったかあつた福祉フェスタ」や名古屋学院大学が中心となって開催している「わくわく親子フェスタ」へ参加し、地域の方々、関係団体、特別支援学校との交流も深めています。

４．レクリエーション活動

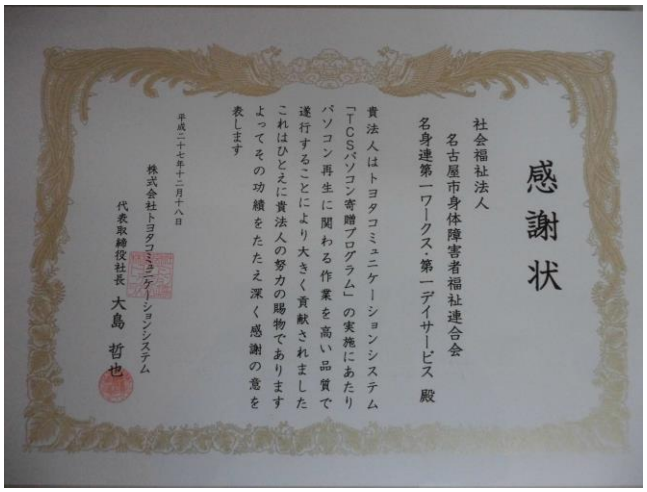
今年度も利用者アンケートにより、第一施設単独で新年会を開催しました。アトラクションでは、好評だったＯＳＵを招聘しました。舞台上での華やかなダンスや盛り上がる楽曲を繰り広げる彼女たちに魅了され、拍手喝采が続きました。フィナーレでは恒例となった「世界に一つだけの花」を全員で歌い、会場全体が一体となり楽しむことができました。また、作業で取引のあるトヨタコミュニケーションシステム様からのご支援により蒲郡の海岸清掃ボランティアに参加しました。普段支援していただくことの多い中、ボランティアとして社会貢献に参加できたことはとても良い経験となりました。

新年会でのフィナーレ

〈その他〉

情報提供として、各種イベントの案内や旅行の案内を行い、余暇活動への支援を行いました。特に名身連旅行センターのツアー旅行には、多くの利用者からの参加があり、余暇活動の支援の一環になりました。

また、清掃海岸でもお世話になっているトヨタコミュニケーションシステム様より、数年パソコンのリユース作業を行っていることに対して感謝状をいただきました



感謝状

社会福祉法人
名古屋市身体障害者福祉連合会
名身連第一ワークス・第一デイサービス　殿

貴法人はトヨタコミュニケーションシステム「TCSパソコン寄贈プログラム」の実施にあたりパソコン再生に関わる作業を高い品質で遂行することにより大きく貢献されました
これはひとえに貴法人の努力の賜物であります
よってその功績をたたえ深く感謝の意を表します

平成二十七年十二月十八日
株式会社トヨタコミュニケーションシステム
代表取締役社長　大島　哲也

トヨタコミュニケーションシステム様
からいただいた感謝状

就労継続支援B型事業　定員２４名　（名身連第一ワークス・第一デイサービス）

１．居住区の状況（Ｈ２８．３．３１現在）　（単位：人）

居住地名									
千種		中　村		熱　田		守　山		知多市	2
東		中		中　川	2	緑	1		
北	2	昭　和	2	港	2	名　東	2		
西	2	瑞　穂	5	南	4	天　白	5		
計						市内	27	市外	2

２．月別登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	27	27	27	25	26	26	27	27	26	26	26	29

３．月別新規登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	3	7
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	3	7

４．月別登録辞退者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5

５．辞退理由　（単位：人）

	他施設	死亡	その他	計
男	2	0	2	4
女	0	0	1	1
計	2	0	3	5

６．年齢・等級別状況　　（単位：人）

等級	1		2		3		4		5		なし		計		合計
年齢＼性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
２０歳未満			1								1		2	0	2
２０～２４歳				1									0	1	1
２５～２９歳	1				2	1							3	1	4
３０～３４歳	1												1	0	1
３５～３９歳				1	1				1		1		3	1	4
４０～４４歳				1		1			1				1	2	3
４５～４９歳	2		2	1		1			1				5	2	7
５０～５４歳			1				1						2	0	2
５５～５９歳			1				2						3	0	3
６０歳以上							1		1				2	0	2
計	4	0	5	4	3	3	4	0	4	0	2	0	22	7	29

平均年齢

男　性	42.5　歳
女　性	38　歳
男女平均	41.4　歳

障害程度区分　　（単位：人）

区　分	人数
6	0
5	0
4	2
3	8
2	2
1	0
未認定	17
計	29

７．障害原因別区分　　（単位：人）

	区分						
	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	計
男	3	9	5	1	1	3	22
女	3	1	2	0	1	0	7
計	6	10	7	1	2	3	29

８．手帳所持状況　（単位：人）

愛護 / 身障	１度	２度	３度	４度	なし	計
１級	0	0	1	0	3	4
２級	0	0	4	0	5	9
３級	0	0	0	1	5	6
４・５・６級	0	0	0	1	7	8
なし	0	0	0	1	1	2
計	0	0	5	3	21	29

９．学歴状況　（単位：人）

学歴	小・中　卒	高卒	養護・聾卒	短・専門大　卒	不明	計
計	3	13	9	4		29

１０．登録前歴状況　（単位：人）

前歴	在　宅	学生	他施設	就労者	計
計	5	6	18	0	29

１１．年金受給状況　（単位：人）

種類 / 性別	国民年金 障害基礎年金	厚生年金 障害年金	なし	計
男	7	2	13	22
女	5	0	2	7
計	12	2	15	29

１２．配偶者の有無　（単位：人）

状況 / 性別	有	無	計
男	6	16	22
女	0	7	7
計	6	23	29

１３．補装具使用状況　　（単位：人）

種類 性別	車いす	車いす ＋ 装具	杖	杖 ＋ 装具	装具	なし
計	4	0	0	3	4	18

１４．通所方法　　（単位：人）

等級 交通機関	1	2	3	4	5	なし	計
地下鉄	1	3	2	2	2		10
市バス	1	2	2		2	0	7
地下鉄と市バス	1		1			0	2
地下鉄と その他交通機関						0	0
名鉄		1	1			0	2
ＪＲ		1		1		0	2
２つ以上 の交通機関						0	0
家族及びヘルパー による送迎	1	2				0	3
リフトタクシー						0	0
タクシー						0	0
車いす自走						0	0
徒歩				1		0	1
自転車・徒歩						2	2
自家用車						0	0
計	4	9	6	4	4	2	29

１５．通所時間　　（単位：人）

所要時間	計
３０分未満	5
３０分～３９分	12
４０分～４９分	4
５０分～５９分	1
１時間～１時間０９分	5
１時間１０分～１時間１９分	0
１時間２０分以上	2
計	29

１６．登録期間の状況　　（単位：人）

期間／性別	６ヶ月未満	６ヶ月～１年	１年～３年	３年～５年	５年～７年	７年～９年	１０年以上	計
計	4	2	6	3	6	2	6	29

１７．年度別退所者数　　（単位：人）

年度	23	24	25	26	27	計
計	3	8	2	9	5	27

１８．現在までの退所理由（過去５年間）　　（単位：人）

理由／性別	他施設	死亡	その他	計
男	14	0	6	20
女	5	0	2	7
計	19	0	8	27

２０．１か月分工賃状況　　（単位：人）

平均工賃	人数
０～　２，０００円	2
２，０００～　４，０００円	7
４，０００～　６，０００円	3
６，０００～　８，０００円	8
８，０００～１０，０００円	4
１０，０００～１５，０００円	2
１５，０００～２０，０００円	
２０，０００～３０，０００円	3
３０，０００円以上	
計	29

２１．賞与支払状況

区　　分	支払月	支払額	１人当平均	最高額	最低額	支払人数
25年度期末	７月	2,323,109	96,796	306,334	5,623	24
夏　　期	７月	600,000	24,000	103,876	1,015	25
冬　　期	１２月	600,000	22,222	64,699	5,600	27
計	年３回	3,523,109	143,018			

２２．工賃支払状況

（単位：円）

	４月	５月	６月	期末手当	７月	８月	夏期手当	９月
人数(人)	27	27	27	24	25	26	25	26
支払人数(人)	25	26	25	24	25	26	25	26
当月支払額	143,556	296,803	224,310	2,323,109	233,219	221,389	600,000	219,345
一人当平均支払額	5,742	11,416	8,972	96,796	9,329	8,515	24,000	8,436
最高支払額	24,050	45,700	29,700	306,334	29,580	28,230	103,876	32,280
最低支払額	2,134	450	1,400	5,623	1,050	2,740	1,015	1,630
出席率（%）	70.9	70.1	68.5	---	73.8	67.9	---	72.9
稼働日数(日)	13	26	22	---	22	21	---	19

	１０月	１１月	１２月	冬期手当	１月	２月	３月	計
人数(人)	27	27	27	27	26	26	29	396
支払人数(人)	25	27	27	27	27	26	29	390
当月支払額	265,349	226,484	145,625	600,000	312,597	259,530	264,502	6,335,818
一人当平均支払額	9,382	7,993	5,144	22,222	11,578	9,982	9,121	16,246
最高支払額	38,340	25,650	20,350	64,699	43,380	34,640	37,490	-
最低支払額	1,340	1,750	1,340	5,600	830	2,796	540	-
出席率（%）	74.1	73.7	76.4	---	73.4	78.3	67.6	72.3
稼働日数(日)	21	19	11	---	26	20	22	242

２３．業者別収入

（単位：円）

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年間
	Ａ社	130,575	226,275	25,950	57,271	73,791	196,629	31,000	80,085	167,150	15,500	108,512	78,112	1,190,850
	Ｂ社	170,100	90,466	112,735	89,100	42,537	0	150,768	59,700	64,573	156,924	184,939	119	1,121,961
	Ｃ社	31,028	35,644	0	0	73,740	87,205	81,527	71,623	75,842	53,689	58,407	70,787	639,492
	Ｄ社			159,732	294,720			22,377	15,965	24,783	17,648	24,205	24,155	583,585
	Ｅ社	14,350	31,310	17,380	45,270	53,125	44,630	65,245	56,105	82,735	55,810	55,945	59,800	581,705
	Ｆ社	3,600	0	36,858	29,000	0	0	0	48,320	48,000	33,800	124,530	7,200	331,308
	Ｇ社				82,570	19,900	13,100	6,050	10,900	113,431	10,000	9,440	6,600	271,991
	Ｈ社	34,560	39,960	6,480	7,560	8,640	8,640	16,200	31,795	19,440	22,680	25,315	41,040	262,310
	Ｉ社							240,000						240,000
	Ｊ社		20,412	72,891	97,335	17,325							22,728	230,691
	Ｋ社					39,689	28,658	48,653	30,606	38,848	34,102			220,556
	Ｌ社	17,956	11,950	23,204	25,690	18,652	8,960	9,532	22,890	4,418	23,610	35,690	17,116	219,668
	店頭販売	21,160	19,750	0	90,250	20,700	33,000	0	16,300	28,460	25,320	23,760	197,950	476,650
	その他	136,502	315,011	450,357	383,104	232,237	177,593	230,965	65,132	532,749	48,477	78,470	392,646	3,043,243
	計	559,831	790,778	905,587	1,201,870	600,336	598,415	902,317	509,421	1,200,429	497,560	729,213	918,253	9,414,010

平成２７年度第一ワークス・第一デイサービス事業報告ポイント
（第一生活介護）

利用状況は、平均１日利用人数が２０．７名（定員２０名　生産活動あり、なし含む）年間平均利用率は、１０３．７パーセントとなっています。利用登録は生産活動ありに１１名、生産活動なしに３０名。合わせて４１名が在籍しています。そのうち身体障害者手帳所持者は３９名、愛護（療育）手帳所持者は２３名おり、全体の半数以上の方が身体・知的の重複障害の方となります。

平成２７年度は個別支援計画書一連の書式を一新し個別支援会議を毎月実施しました。また、ステップアップ会議も実施しそれに伴い、生産活動なしから生産活動ありへ４名の方が移行されました。

〈生産活動なし〉

平成２７年度より医療的ケアの必要な利用者が新たに入所し、現在は二名が活動中に酸素吸入を行っています。一連の介助は全て看護師が対応しています。今後も更なる重度化が予想されます。また、家族の高齢化も進んでおり利用者本人だけではなく家族のケアも必要なケースがあります。

年間の取組みとしては、創作活動の充実を目標に創作した作品を館内装飾に使ったり施設１階ロビーに展示スペースを設けるなどして作品をより多くの人に見てもらえる取り組みをしました。また、インターネットパソコンを新たに導入し利用者がインターネットを使い情報収集などに活用できるようにしました。

〈生産活動あり〉

作業として自動車のエンジンプラグ加工の下請け作業・レンタルＣＤショップでの廃棄 CD の分別作業・ユニットバスの金属プレート梱包作業を主に行っています。ＣＤの分別作業は２７年度より新たに始めた作業です。２７年度生産活動純利益は５２７，４４５円前年比マイナス４４，６２７円でした。

平成２７年度名身連第一ワークス・第一デイサービス事業報告
（生活介護事業）

＜利用者状況について＞

生活介護の利用状況は、生産活動ありグループ１１人、生産活動なしグループ３０名の合わせて４１名が在籍しています。平成２７年度中に６名が退所され、新たに７名が利用を開始されました。年間利用者総数は名で一日５，０２８の平均利用者数は２０．７名でした。

平成２７年度は特別支援学校を卒業したばかりの方が３名入所をされ、平成２７年３月に一足先に通所を開始された方と合わせると４名が新卒の方となり平均年齢が下がりました。退所者内訳は１名が６５歳となり介護保険事業所へもう１名が他事業所へ移行されました。１名の方は他界され、２名の方は長期入院中です。１名の方はご家庭の都合で退所されました。現在、多種多様な障害の方が利用をされており、ニーズも様々なものとなっています。職員は利用者一人ひとりに寄り添った支援を目標に日々活動に取り組んでいます。

＜サービス内容について＞

１．生産活動

平成２７年度中に新たに４名が生産活動なしグループから生産活動ありグループへ移行をされました。週に５日間毎日作業に取組む方もみえれば体調を加味し利用日の午前は生産ありグループにて作業、午後は生産なしグループで創作活動やレクレーションに参加される方など一人ひとりのニーズに沿った利用をしていただいています。作業内容としましては、主力作業である自動車部品のエンジンプラグ加工の下請け作業・新規作業として受注を始めたレンタル CD ショップでの廃棄 CD の分別作業などの軽作業を中心として行いました。また、毎年恒例となったりんご・なしなどの果物販売も引き続き行いました。

２・日常生活訓練

◇散歩・買い物

散歩・買い物などの外出は利用者のニーズの高いメニューの一つです。お一人やグループでの外出をご希望に合わせ支援しています。

２７年度は熱田神宮にて開催された「あつた朔日市」へ出掛け買い物をしたり見学をしました。また、熱田区自立支援協議会主催の防災セミナーに参加をし防災意識を高めるなど積極的に地域行事に参加をしました。地域に出ることによっての利用者の社会参加を目的に活動をしました。

◇お茶会・お菓子作り

利用者同士の親睦を深める目的でお茶会を定期的に開催しています。また、お菓子作りの取組みも行っており、プリン・クラッシュゼリー・抹茶バニラムースなどを作りました。役割を分担しながらみんなで作ることによってグループで一つのものを作る楽しさを味わうことや役割を担う体験をすることによってやりがいや達成感を得ることの出来る活動となっています。

３．　社会適応訓練

春は５月１２日・５月１４日に開港１０周年の中部国際空港セントレアで出掛けました。飛行機の迫力ある離陸・着陸を間近で見たり、館内のいろいろなレストランの中から食べたいお店を探し昼食を取ったり楽しいひとときを過ごされました。

秋は１０月１５日・２０日に愛・地球博記念公園に出掛けました。こちらも１０周年記念として「ジブリの大博覧会」などいろいろなイベントが開催されていました。記念グッズを購入したり園内の花々や木々の中で秋の風を感じながらの昼食を取ったり皆さん様々な過ごし方をされていました。

１月２１日は毎年恒例となる新春パーテイーが千種区のメルパルク NAGOYA にて開催されました。今回も利用者の中から企画委員を選出し、企画・司会進行等を担当しました。スペシャルゲストとして地元アイドルグループ「OS☆U」を招き歌やダンスを楽しみながら素敵なお料理をいただき楽しいひとときを過ごしました。

秋のレクリエーション

新　年　会

４．　創作活動

２７年度は「名古屋市障害者作品展」「あいちアール・ブリュット展」などに出品しました。「名古屋市障害者作品展」では書道の部と工芸の部にて２名の方が受賞されました。他の利用者も会場へ見学に行き出品されたいろいろな作品を見て刺激を受けていました。

居室内の装飾についても引き続き力を入れており、壁一面を使った桜の飾りはアイディアを出す人、作る人、飾る人などいろいろな形で利用者が参加し作成しました。来所者の皆さんに大変好評いただきました。

偶数月に開催している陶芸教室でお世話になっている瀬戸の「五山楽窯房」さんより普段の電気釜ではなく昔ながらの手法「穴窯」で作品を焼くイベントのお誘いを受け希望者の方が取り組みました。電気釜では出せない美しい色・風合いの作品が出来上がりました。10 月には「五山楽窯房」加藤益弘先生の作陶展に名身連作品コーナーを設けてもらい一緒に展示していただきました。

名古屋市障害者作品展
受賞作品

居室内装飾の様子

五山楽窯房　加藤益弘先生作陶展
名身連コーナー

生活介護事業　定員２０名　（名身連第一ワークス・第一デイサービス）

１．居住区の状況（Ｈ２８．３．３１現在）　（単位：人）

居住地名									
千種	1	中　村	2	熱　田	10	守　山	0	日進	1
東	0	中	1	中　川	3	緑	3	清洲	1
北	1	昭　和	1	港	3	名　東	2		
西	4	瑞　穂	3	南	4	天　白	1		
計						市内	39	市外	2

２．月別登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	40	43	43	45	44	44	44	44	42	41	41	41

３．月別新規登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5
女	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	7

４．月別登録辞退者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	4
計	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2	0	1	7

５．辞退理由　（単位：人）

	他施設	死亡	その他	計
男	0	1	2	3
女	2	0	1	3
計	2	1	3	6

６．年齢・等級別状況　　（単位：人）

等級	1		2		3		4		5		なし		計		合計
年齢＼性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
２０歳未満	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
２０～２４歳	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	4	2	6
２５～２９歳	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2
３０～３４歳	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	2	6
３５～３９歳	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
４０～４４歳	2	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	3	6
４５～４９歳	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3
５０～５４歳	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	2	5
５５～５９歳	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
６０歳以上	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
計	12	10	3	4	5	2	2	1	0	0	2	0	24	17	41

平均年齢

男　性	37.6　歳
女　性	41.6　歳
男女平均	39.2　歳

障害支援区分　　（単位：人）

区　分	人数
6	14
5	12
4	5
3	9
2	1
1	0
計	41

７．障害原因別区分　　（単位：人）

	区分						
	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	視覚障害	聴覚障害	計
男	5	5	1	11	2	0	24
女	10	0	1	6	0	0	17
計	15	5	2	17	2	0	41

８．手帳所持状況　（単位：人）

愛護 / 身障	１度	２度	３度	４度	なし	計
１級	3	4	1	1	13	22
２級	1	2	2	0	2	7
３級	1	2	2	1	2	8
４・５・６級	0	0	1	0	1	2
なし	1	0	1	0	0	2
計	6	8	7	2	18	41

９．学歴状況　（単位：人）

学歴	小・中　卒	高卒	養護・聾卒	短・専門大　卒	未就学	計
計	2	4	31	4	0	41

１０．登録前歴状況　（単位：人）

前歴	在　宅	学生	他施設	就労者	計
計	10	18	8	5	41

１１．年金受給状況　（単位：人）

種類	国民年金 障害基礎年金	厚生年金 障害年金	なし	計
男	14	5	5	24
女	15	0	2	17
計	29	5	7	41

１２．配偶者の有無　（単位：人）

状況 / 性別	有	無	計
男	3	21	24
女	0	17	17
計	3	38	41

１３．補装具使用状況　　（単位：人）

種類	車いす	車いす＋装具	杖	杖＋装具	装具	なし
計	12	8	3	2	4	12

１４．通所方法　　（単位：人）

等級／交通機関	1	2	3	4	5	6	なし	計
地下鉄	0	0	1	0	0	0	1	2
市バス	1	0	1	0	0	0	0	2
名鉄	0	0	0	0	0	0	0	0
ＪＲ	0	1	1	0	0	0	0	2
家族及びヘルパーによる送迎	18	3	5	1	0	0	1	28
リフトタクシー	1	1	0	0	0	0	0	2
介護タクシー	4	1	0	0	0	0	0	5
リフトバス（送迎）	4	2	3	0	0	0	0	9
徒歩	1	0	0	1	0	0	0	2
計	29	8	11	2	0	0	2	52

重複あり

１５．通所時間　　（単位：人）

所要時間	計
３０分未満	19
３０分～３９分	9
４０分～４９分	6
５０分～５９分	3
１時間～１時間０９分	4
１時間１０分～１時間１９分	0
１時間２０分以上	0
計	41

１６．登録期間の状況　　（単位：人）

期間	６ヶ月未満	６ヶ月～１年	１年～３年	３年～５年	５年～７年	７年～９年	１０年以上	計
計	2	4	8	13	2	1	11	41

１７．年度別退所者数　　（単位：人）

年度	23	24	25	26	27	計
計	5	2	4	5	6	22

１８．現在までの退所理由（過去５年間）　　（単位：人）

理由／性別	他施設	死亡	その他	計
男	7	2	6	15
女	4	1	2	7
計	11	3	8	22

１９．介護状況　　（単位：人）

	起居	移動	食事	更衣	排泄
自立	17	14	20	16	16
部分介助	7	11	14	10	8
全介助	17	16	7	15	17
計	41	41	41	41	41

２０．１か月分工賃状況　　（単位：人）

平均工賃	人数
０～　２，０００円	12
２，０００～　４，０００円	2
４，０００～　６，０００円	0
６，０００～　８，０００円	0
８，０００～１０，０００円	0
１０，０００～１５，０００円	0
１５，０００～２０，０００円	0
２０，０００～３０，０００円	0
３０，０００円以上	0
計	14

２１．賞与支払状況

区　　分	支払月	支払額	１人当平均	最高額	最低額	支払人数
26年度期末	7月	264,242	26,424	57,257	9,655	10
夏　　期	7月	100,000	8,333	13,524	180	12
冬　　期	12月	100,000	8,333	14,289	435	12
計	年3回	464,242	43,090			

２２．工賃支払状況　　（単位：円）

	4月	5月	6月	期末手当	7月	8月	夏期手当	9月
人数(人)	10	11	12	10	12	13	12	13
支払人数(人)	9	11	11	10	10	11	12	11
当月支払額	10,654	20,794	18,474	264,242	16,018	15,476	100,000	13,678
一人当平均支払額	1,065	1,890	1,539	24,624	1,334	1,190	8,333	1,052
最高支払額	2,260	2,912	2,556	36,236	2,310	2,394	13,524	2,198
最低支払額	0	658	0	9,655	0	0	180	0
出席率（%）	62.3	64.2	69.5		60.0	58.1		55.8
稼働日数(日)	13	26	22		22	21		19

	10月	11月	12月	冬期手当	1月	2月	3月	計
人数(人)	13	13	15	12	14	14	14	188
支払人数(人)	10	10	11	12	12	12	13	165
当月支払額	14,720	15,016	8,682	100,000	17,114	14,608	15,868	645,344
一人当平均支払額	1,132	1,155	576	8,333	1,222	1,043	1,133	54,488
最高支払額	2,562	2,226	1,400	14,289	2,796	2,268	2,842	－
最低支払額	0	0	0	435	0	0	0	－
出席率（%）	51.0	58.4	59.1		50.8	53.5	53.6	58.1
稼働日数(日)	21	19	11		26	20	22	242

２３．平成２７年度内行事

ＮＯ	実施日	事　　項	主　　催	場　　所	摘　要
1	４月　７日	陶芸教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
2	４月　９日	第一回　健康相談	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	第一ワークス・第一デイサービス	継続Ｂ就労移行
3	４月１３日 ４月２１日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
4	４月２２日	人形劇（おはなしキャラバンつばさ）	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	第一ワークス・第一デイサービス	（生活介護）自由参加
5	５月１２日 ５月１４日	春季レクリエーション	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	セントレア空港	（生活介護）自由参加
6	５月１８日 ５月２６日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
7	６月１１日	陶芸教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
8	６月１８日 ６月１９日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
9	６月２４日 ～７月　６日	七夕飾り	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
10	７月２３日 ７月２４日	お菓子作り・お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
11	８月１８日	陶芸教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
12	８月２４日 ８月２５日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
13	９月１７日	防災訓練	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	第一ワークス・第一デイサービス	全員
14	９月２５日 ９月２８日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
15	１０月　１日	陶芸教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
16	１０月　４日	障害者と市民のつどい	名古屋市健康福祉局	久屋大通公園	自由参加
17	１０月１１日	熱田区区民まつり	熱田区区民まつり実行委員会	白鳥公園	自由参加
18	１０月１５日 １０月２０日	秋季レクリエーション	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	愛・地球博記念公園	（生活介護）自由参加
19	１０月１８日	第二回　健康相談	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	第一ワークス・第一デイサービス	継続Ｂ就労移行
20	１０月２４日	あったかあつた福祉フェスタ	熱田区社会福祉協議会	熱田区役所	自由参加
21	１０月２９日 １０月３０日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
22	１０月３１日	海岸清掃	㈱トヨタコミュニケーションシステ	蒲郡市	自由参加
23	１１月　３日	第６０回 名古屋市身体障害者福祉大会	名古屋市・他	中区役所ホール	自由参加
24	１１月１１日	眼鏡のメンテナンス	メガネの和光	第一ワークス・第一デイサービス	自由参加
25	１１月１７日 １１月１９日	お菓子作り・お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
26	１２月　２日	書道教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
27	１２月１１日	陶芸教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
28	１２月１８日	パソコン寄贈式	㈱トヨタコミュニケーションシステ	名古屋市役所	継続B
29	１２月１８日 １２月２１日	お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
30	１月２１日	新春パーティー	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	メルパルクNAGOYA	自由参加
31	１月２８日 １月２９日	お菓子作り・お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
32	２月１０日 １２日	第５２回名古屋市 障害者作品展示会見学	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館	（生活介護）自由参加

ＮＯ	実施日	事　　項	主　　催	場　　所	摘　要
33	２月 １５日	陶芸教室	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
34	２月 ２４日	熱田区防災体験	熱田区自立支援協議会	熱田区役所　講堂	（生活介護）自由参加
35	２月 ２４日	集団面接会	愛知県労働局	愛知県体育館	就労移行
36	２月 ２６日 ２９日	お菓子作り・お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
37	３月　１日 ３日	ひな祭り・お茶会	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	生活介護居室	（生活介護）自由参加
38	３月 １８日	防災訓練	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	第一ワークス・ 第一デイサービス	全員
39	３月 ２５日 ３月 ２８日	お花見ドライブ	名身連第一ﾜｰｸｽ・第一ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	瑞穂通他	（生活介護）自由参加

※毎月第二、第四火曜日に火よう市をハートランド森と共同で開催

平成２７年度名身連第二ワークス・第二デイサービス事業報告ポイント
（就労継続支援Ｂ型）

今年度に利用者定員を１０名から２０名に増員しました。現在は１８名（定員２０名）となり少しずつ新規利用者が増えている状況です。生産ありから就労継続 B 型に５名の方がステップアップされました。一般就労を目指す利用者の方が就労移行支援事業者に１名移行して、その後一般就労をされました。

作業状況としては、新たな印刷会社と関係を築くことにより、これまで対応しきれなかった依頼にも応えることができるようになり、仕事の幅が拡がりました。新しい仕事をすることにより、役割が増え、作業に対する意欲の向上が出来たと思われます。

報告

個別支援計画について

年２回個別支援計画を作成しますが、今までは利用者からのニーズが上手く聞き取り出来ていない部分があり、今年度より誕生日月に計画を作成し、半年経過した際にモニタリングを行うことで、利用者のニーズを把握しステップアップや変化に速やかに対応できるよう目標を立てました。結果毎月個別支援会議を行うことで、昨年度より利用者の変化やニーズに気付ける支援を行うと同時に、職員間でのケース検討も出来ました。

新たな商品の販売について

今年度より地域との関係を深めるため、中村区で製造している地域の業者との関係を築き、せんべいやシアバターなどの商品を施設で販売できるような体制をつくりました。

作業、工賃について

新たな印刷業者との関係を築き、専門的なアドバイスをいただきながら、これまで受注できなかった案件にも対応できる競争力をつけました。特に官公庁からの大型案件にも対応できるようになりました。また、新規取引を開始した事業所から定期的な印刷依頼を受注することもできました。１つあたりの単価が安い軽作業から、利益率の高い印刷作業にシフトチェンジしていくため営業に力を入れて工賃向上を目指しました。
平成２７年度の一人当たりの１ヶ月の支払平均工賃は約１８，０００円で、愛知県の平均工賃の１５，０００円を約３，０００円上回りました。

１日あたりの利用者数について

今年度は利用定員を１０名から２０名に増員しました。生産活動ありから、就労継続Ｂ型

に５名の方がステップアップされました。現在、登録利用者数は１８名で、２０名定員に向けて少しずつ増えています。１名の方が、就労移行にステップアップされ、その後、一般就労されました。年間平均利用は１０．２名でした。今後も引き続き利用者の確保を目指しします。

平成２７年度名身連第二ワークス・第二デイサービス事業報告

（就労継続支援Ｂ型事業）

＜生産活動について＞

現状

昨年度に引き続いて印刷作業、発送作業、軽作業など以前から関わりがある企業等からの受注を継続できました。また、新規開拓としては、新たな団体からの定期的な印刷依頼を受注できました。優先調達推進法により、官公庁からの問い合せや見積り依頼も昨年度よりも増えてきています。特に愛知県関連からの名刺印刷依頼が増えてきている状況があります。印刷作業の依頼をいただいた企業に施設活動を PR することで新規作業の開拓にも繋げています。

このような現状の中、今年度は以下のことに取り組みました。

１．従来からの作業継続について

印刷作業では、オンデマンド複写機の活用により、印刷作業にかかる時間短縮を図り、名刺や年賀状印刷など以前よりスピーディーに納品できるようになっています。また印刷コストを軽減するため紙や封筒などの取引業者を数社に増やし、受注内容に応じて使い分けを行っています。また、新たに外注業者を増やすことにより、従来では受け切れなかった受注案件にも対応できるようになりました。今後も、納期の短縮化や個別ニーズに応えつつ、より多くの仕事をこなせるように努力していきたいと思います。

軽作業では、各社の閑散期と繁盛期を組み合わせながら昨年度並みの売り上げを確保できましたが、適正な作業量バランスについては、今後見極めていく必要があると思います。また、地域との関係を深めることを目的として、せんべいなどの商品を地元企業と連携して、新たな販売活動を開始しました。

２．編集作業力の強化

パソコン編集経験のある職員を配置していることにより、利用者に専門的な指導が継続してできるようになりました。それにより、編集作業を行っている利用者のスキルが向上し、施設内に掲示するチラシ作成なども行うなど目にみえる成果も上がってきています。

今後もパソコン編集業務に従事できる人材を育成する取り組みを継続していきたいと思います。

３．関係団体や法人内他部署との連携

区役所や自立支援協議会などと関わりが多いセクションからの紹介により受注に繋がったケースもありました。今後も法人内での連携を密にし、相互協力しながら営業活動を行い新たな受注につなげていきます。

＜利用者状況及び支援活動について＞

第二ワークス・第二デイサービス就労継続支援Ｂ型事業の利用者状況は、３月末現在で利用者登録数１８名です。一日の平均利用者数は１３．１名でした。

１．一人一人のニーズに沿った支援を行う

一人一人の障害状況や年齢、およびニーズに合わせた支援が行えるように努めました。その結果、作業場面や生活場面でひとりひとりのできることが増えるようになりました。

２．作業活動への支援

各自の障害状況や体調に合わせ、作業の提供を行いました。仕事をするうえで必要となる基礎的な力が課題にある方に対して必要な支援を行いました。また、作業面においても編集の技術向上や軽作業でできることの幅を広げるように支援をしました。

３．地域の支援機関や特別支援学校との連携、交流

新規利用者の受け入れに向け、施設のＰＲや連携を積極的に行いました。また、希望に応じて見学や実習を受け入れ開かれた施設運営を目指しました。さらに毎年開催されます「中村区民まつり」に参加し交流を深めています。

４．ステップアップへの支援

今後も利用者の意向を確認しながら､必要に応じて当法人の就労移行事業所や他の就労支援機関との連携をとっていきます｡今年度は第二→就労移行→一般就労へステップアップされた方が１名ありました。

５．福祉的就労への支援

一般企業でも通用するマナーやルールを身につけることを目標としながらも､各自の障害状況や体調に合わせ、作業の提供を行いました。また、昨年度に引き続き、職業準備や他者とのコミュニケーションが課題となる利用者に対しても個別支援を行いました。

６．レクリエーション活動

今年度も利用者アンケートにより、新年会を開催しました。利用者が企画段階から関わりをもってもらうことで主体的に取り組んでもらうことができました。アトラクションでは大道芸人を招き、迫力ある演技を目の前でみることができ会場全体が一体となり楽しむことができました。

就労継続支援B型事業　定員20名　（名身連第二ワークス・第二デイサービス）

1．居住区の状況（H28．3．31現在）　（単位：人）

居住地名									
千種	1	中　村	4	熱　田	1	守　山	0	あ ま 市	1
東	0	中	0	中　川	2	緑	0	弥 富 市	1
北	2	昭　和	1	港	1	名　東	0	大 治 町	2
西	1	瑞　穂	0	南	1	天　白	0	清 須 市	0
計						市内	14	市外	4

2．月別登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	14	14	15	15	16	16	16	17	18	18	18	18

3．月別新規登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	7
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	7

4．月別登録辞退者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3

5．辞退理由　（単位：人）

	他施設	死亡	その他	計
計	0	0	3	3

6. 年齢・等級別状況　（単位：人）

等級	1		2		3		4		5		なし		計		合計
年齢＼性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3
25～29歳	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
30～34歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
40～44歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3
45～49歳	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
50～54歳	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
55～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	2	6	2	1	0	0	0	0	0	2	0	14	4	18

平均年齢

男　性	38.6　歳
女　性	43.5　歳
男女平均	39.7　歳

障害程度区分　（単位：人）

区　分	人数
6	0
5	1
4	3
3	5
2	2
1	0
未認定	7
計	18

7. 障害原因別区分　（単位：人）

	区分						
	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	計
男	6	2	0	3	1	2	14
女	0	0	1	2	1	0	4
計	6	2	1	5	2	2	18

8. 手帳所持状況　（単位:人）

身障＼愛護	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級	0	0	0	0	7	7
2級	0	0	1	0	7	8
3級	0	0	0	1	0	1
4･5･6級	0	0	0	0	0	0
なし	0	2	0	0	0	2
計	0	2	1	1	14	18

9. 学歴状況　（単位:人）

学歴	小･中　卒	高卒	養護･聾卒	短･専門大　卒	不明	計
計	1	1	11	5	0	18

10. 登録前歴状況　（単位:人）

前歴	在　宅	学生	他施設	就労者	第2デイ	計
計	1	1	7	4	6	18

11. 年金受給状況　（単位:人）

性別＼種類	国民年金 障害基礎年金	厚生年金 障害年金	なし	計
男	11	1	2	14
女	2	1	1	4
計	13	2	3	18

12. 配偶者の有無　（単位:人）

性別＼状況	有	無	計
男	1	13	14
女	0	4	4
計	1	17	18

13. 補装具使用状況　　（単位：人）

種類 性別	車いす	車いす ＋ 装具	杖	杖 ＋ 装具	装具	なし
計	7	0	1	4	1	5

14. 通所方法　　（単位：人）

等級 交通機関	1	2	3	4	5	なし	計
地下鉄	3	4	1	0	0	0	8
市バス	2	0	0	0	0	0	2
地下鉄と市バス	0	2	0	0	0	0	2
地下鉄と その他交通機関	1	1	0	0	0	0	2
名鉄	0	0	0	0	0	0	0
JR	0	0	0	0	0	0	0
2つ以上 の交通機関	0	0	0	0	0	0	0
家族及びヘルパーに よる送迎	1	0	0	0	0	0	1
リフトタクシー	0	0	0	0	0	0	0
タクシー	0	0	0	0	0	0	0
車いす自走	0	0	0	0	0	0	0
徒歩	0	0	0	0	0	0	0
自転車・徒歩	0	0	0	0	0	2	2
自家用車	0	1	0	0	0	0	1
計	7	8	1	0	0	2	18

15. 通所時間　　（単位:人）

所要時間	計
30分未満	4
30分～39分	2
40分～49分	4
50分～59分	3
1時間～1時間09分	3
1時間10分～1時間19分	2
1時間20分以上	0
計	18

16. 登録期間の状況　　（単位:人）

期間 / 性別	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～9年	10年以上	計
計	3	4	3	1	2	0	5	18

17. 年度別退所者数　　（単位:人）

年度	23	24	25	26	27	計
計	1	1	1	3	3	9

18. 現在までの退所理由（過去5年間）　　（単位:人）

理由 / 性別	他施設	死亡	その他	計
男	4	0	4	8
女	0	0	1	1
計	4	0	5	9

19. 1か月分工賃状況　　（単位:人）

平均工賃	人数
0～ 2, 000円	1
2, 000～ 4, 000円	1
4, 000～ 6, 000円	2
6, 000～ 8, 000円	2
8, 000～10, 000円	4
10, 000～15, 000円	6
15, 000～20, 000円	2
20, 000～30, 000円	0
30, 000円以上	0
計	18

20. 賞与支払状況

区　分	支払月	支払額	1人当平均	最高額	最低額	支払人数
27年度決算	7月	1,552,148	86,230	158,529	13,567	19
夏　期	7月	375,579	19,767	25,291	3,400	19
冬　期	12月	370,457	20,581	25,219	10,582	18
計	年3回	2,298,184	126,578			

21. 工賃支払状況　　（単位:円）

	４月	５月	６月	決算賞与	７月	８月	夏期手当	９月
人　　数(人)	14	14	15	19	15	16	19	16
支払人数(人)	14	14	15	19	15	16	19	16
当月支払額	79,275	146,035	135,750	1,552,148	136,315	125,130	375,579	116,465
一人当平均支払額	5,663	10,431	9,050	86,230	9,088	7,821	19,767	7,279
最高支払額	9,100	18,200	15,400	158,529	14,700	12,600	25,291	12,600
最低支払額	910	970	2,810	13,567	2,850	3,200	3,400	2,910
出席率(%)	78.3	73.6	75.5	---	76.3	82.8	---	78.2
稼働日数(日)	21	18	22	---	22	21	---	19

	１０月	１１月	１２月	冬期手当	１月	２月	３月	計
人　　数(人)	16	17	18	18	18	18	18	251
支払人数(人)	16	17	18	18	18	18	18	251
当月支払額	140,910	138,275	80,455	370,457	186,585	154,485	168,615	3,906,479
一人当平均支払額	8,807	8,134	4,470	20,581	10,366	8,583	9,368	15,564
最高支払額	14,700	13,300	7,700	25,219	16,720	14,000	15,180	---
最低支払額	3,500	2,775	800	10,582	3,550	2,475	1,400	---
出席率(%)	81.1	83.3	79.5	---	76.8	79.1	78.3	78.6
稼働日数(日)	21.0	19	19	---	18	20.0	22	242

23. 業者別収入

業	者　名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
印刷	A社	0	63,720	0	127,440				63,720		63,720	54,268		372,868
	B社	400,253	195,090	5,464	125,711	348,089	465,845				73,150	8,575	281,661	1,903,838
	C社	11,340	2,916	2,376	20,304	11,664	2,376		7,128		12,636	4,363	23,976	99,079
	D社	56,808	72,306	37,800	0	1,173,744			3,715				3,619,797	4,964,170
	E社	221,153	202,565	338,412	391,872	131,208	164,910	228,456	137,714	428,141		109,652	193,064	2,547,147
	F社	8,100	0	3,240	2,160	2,700	4,860	0					124,740	145,800
	G社	31,629	33,168	0	28,874	29,413	30,039	62,217		10,454	30,155	30,155	30,168	316,272
	その他	128,618	417,057	225,773	218,721	109,163	237,716	607,604	226,444	975,551	91,350	582,102	258,762	4,078,861
軽作業	H社	39,509	29,045	50,069	28,377	19,024	10,636	13,410	15,246	28,652	13,996	2,097	15,897	265,958
	I社	14,768	14,161	10,456	11,280	5,319	9,195	14,425	14,425	1,901	7,776	0	7,555	111,261
	J社	98,078	73,250	63,736	61,626	52,650	49,194	89,934	85,220	77,168	67,030	85,804	94,668	898,358
	K社	22,246	15,710	13,003	9,944	3,525	3,580	7,394	9,369	6,782	14,122	11,635	13,167	130,477
	L社	50,215	80,028	113,740	10,751	119,134	83,918	65,306	38,634	42,188	58,031	66,657	56,607	785,209
	合計	1,082,717	1,199,016	864,069	1,037,060	2,005,633	1,062,269	1,088,746	601,615	1,570,837	431,966	955,308	4,720,062	16,619,298

平成２７年度名身連第二ワークス・第二デイサービス事業報告ポイント
（第二生活介護）

利用状況は、平均１日利用人数が生産なし２２．１名（定員２０名）、生産活動ありは１２．６人(定員２０名)となっています。利用登録は生産活動なしが５６名、生産活動ありが１９名、合わせて７５名が在籍しています。平成２７年度には、就労継続Ｂ型の定員が１０名から２０名へと増員したことに伴い、生産ありから５名の方のステップアップを行うことができました。

また以前はサービス管理責任者が個別支援計画書を作成していましたが、職員全員が携わることになり、個別支援会議を毎月実施しました。また、ステップアップ会議も実施しその結果、生産活動なしから生産活動ありへ２名の方が移行されました。

〈生産活動なし〉

平成２７年度には８名の新規登録がありました。

年間の取組みとしては、生産活動なしの日中活動のスペースを２階から１階へと移し、広々とした環境で、新たな支援をスタートさせました。プログラムとしてはリハビリ体操を取り入れ、毎日少しずつ体を動かす場面を増やしています。さらに、静かな環境で創作活動に取り組んでいただいたり、ゆっくりすることのできる部屋ができたことにより、利用者の方の新たなニーズにお応えすることもできました。

〈生産活動あり〉

デイサービスの１階への移動に伴って、生産活動ありの作業スペースを新たに設けることができました。そのため、一人ではできない作業を力を合わせて行ったり、助け合いやチームワークといったことを意識して作業を進めることが可能となり、利用者の方の表情も明るく、和気藹々とした雰囲気で一日を過ごされています。その結果６５歳を迎えた就労継続 B 型の利用者の方も、今後はマイペースで作業を永く行っていきたいというご希望をかなえて生活介護に所属を変更されるといったこともできました。今後も一人ひとりの方に合わせた支援を行っていけるよう、心がけていきます。

平成２７年度名身連第二ワークス・第二デイサービス事業報告
（生活介護事業）

＜利用者状況について＞

生活介護事業の利用状況は、登録者数が生産活動ありグループ（以下「生産活動あり」）　１９名、生産活動なしグループ（以下「生産活動なし」）６０名。年間の利用者総数は生産活動あり３，０４５名で一日の平均利用者数は１２．６名。生産活動なし５，３３７名で一日の平均利用者数は２２．１名でした。新規登録者は全体で８名（生産活動あり４名、生産活動なし３名）と順調に推移しています。

利用者の増加に伴い、職員の増員も行ってきました。パートタイムなど職員の働き方を柔軟に捉え、今後も職員体制（看護師などの専門職の増員）を検討し、多機能型施設として、相互のプログラムを利用者個別のニーズに合わせて提供できるよう目指しています。

＜サービス内容について＞

１．生産活動

平成２３年度４月から「生産活動あり」をスタートさせ５年が経過しました。軽作業を中心に生産活動を行っています。現在の社会経済状況のなか、当施設のように委託作業の多い施設は大きな影響を受けます。そのような状況の中、順調に継続できています。

また、日中活動の一つとして生活面での課題のある利用者を対象とした生産活動（短時間での対応など）を提供できるように目指しています。

２．日常生活訓練

日常生活動作について、活動場面の中で個人の自主性を尊重し、なおかつ各利用者の障害状況や、生活環境など考えながら支援を行いました。具体的には、リハビリ体操に取り組んでいただく時間を設けたり、ボール遊びをとおして肩や腕の動作訓練や、主治医に相談しながらの歩行練習や立ち上がり動作の練習などのプログラムを継続しています。

◇散歩・買い物

利用者の希望に合わせて、散歩や買い物に出かけました。外出先や外出時に自分の必要な物の購入を自ら選択、決定することにより、自主性を高めることや、購入のプロセスをとおして金銭管理を身に付けるための取り組みとしました。一年を通して、豊国神社への初詣や花見、豊国神社参道で９の日に開かれる「九の市」なども散歩の楽しみとなっています。

◇お菓子作り

お菓子作りは「切る・混ぜる・塗る」などの細かい動作が伴いますが、利用者の方たちに人気のあるプログラムです。毎回異なるお菓子作りに取り組むことで、出来る作業範囲が広がるように支援しました。また、分担作業をとおしてひとつのものを作り上げることで協調性を高めることや達成感を味わう取り組みとしました。

日　時	内　　容
７/22,23,24	きらきらゼリー
12/17,25	クリスマスケーキ
2/17,18,19	チョコレートフォンデュ

３．社会適応訓練

◇レクリエーション

毎年恒例のバスレクを春と秋に行いました。春のバスレクは５月２８日、６月１９日に「南知多ビーチランド」へ出かけました。皆さんイルカショーの迫力あるジャンプに目を輝かせ、愛嬌のあるポーズでは思わず笑顔をうかべていらっしゃいました。秋のバスレクは、１０月２日、８日に「花フェスタ記念公園」へ出かけました。暖かい日差しの中、心地よい空気を吸いながら公園を散策し、花の香りを楽しまれていました。

新春パーティーは今年度も利用者の方が企画委員となり、皆が楽しめるような食事や内容を一生懸命考えて取り組まれていました。その甲斐もあり、多くの利用者の方が参加され、和やかなひと時をすごされました。

その他にも季節を感じていただけるような「夏祭り」や、「ハロウィンパーティー」も開催しました。レクには生産ありの方も参加され、よい交流の機会となっていました。

秋のバスレク

新春パーティー

ハロウィンパーティー

夏祭り

４．創作活動

個人創作では、利用者が材料を持参されて行う刺繍やペーパーフラワー、ジグソーパズルの製作、デイに装備している用具を利用しての絵画など、選択の幅を広げ、創作意欲の向上や出来上がった時の達成感に繋がるよう支援し、作品展示会へも数名出展しました。

また外部講師による陶芸では、講師の指導でその時のテーマにあわせた器や、個人が希望する器などを製作します。この陶芸は、個人の想像力や個性などを高めることを目的に行っています。

作品展受賞作品

陶芸作品

５．入浴サービス

第二ワークス・第二デイサービス生活介護事業の特徴に入浴サービスがあります。在宅での入浴が困難な利用者の方や独居で見守りなど必要な利用者を中心にサービス提供をしています。入浴方法は寝浴、シャワー浴、リフト浴、一般浴と４種類あり、利用者の障害や状況にあわせて実施しました。

利用状況は２４名が利用されており、男性１３名、女性１１名となっています。また、入浴に際してはバイタルチェックや入浴中の状態などの観察をとおして各利用者やご家族と情報を共有し、健康状況の把握に努め入浴サービスの提供とあわせ健康管理などの支援を行いました。

生活介護事業　生産活動あり　定員20名　（名身連第二ワークス・第二デイサービス）

1．居住区の状況（H28．3．31現在）　（単位：人）

居住地名									
千種	1	中　村	9	熱　田	0	守　山	0	あま市	1
東	1	中	0	中　川	2	緑	0		
北	2	昭　和	0	港	2	名　東	0		
西	1	瑞　穂	0	南	0	天　白	0		
計						市内	18	市外	1

2．月別登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	21	21	20	20	19	19	19	19	18	18	18	19

3．月別新規登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
女	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
計	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4

4．月別登録辞退者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	5
女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	6

5．辞退理由　（単位：人）

	他施設	死亡	その他	計
男	0	0	5	5
女	0	0	1	1
計	0	0	6	6

6. 年齢・等級別状況　　（単位：人）

等　級	1		2		3		4		5		6		なし		計	
年齢＼性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20歳未満	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
25～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30～34歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
40～44歳	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
45～49歳	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
50～54歳	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
55～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳以上	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
計	3	3	6	0	2	3	0	0	0	0	0	2	0	0	11	8

平均年齢

男　性	44.7　歳
女　性	43.1　歳
男女平均	44.0　歳

障害程度区分　　（単位：人）

区　分	人数
6	0
5	3
4	5
3	9
2	2
1	0
計	19

7. 障害原因別区分　　（単位：人）

	区　分						
	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	計
男	4	4	2	1	0	0	11
女	2	0	1	1	3	1	8
計	6	4	3	2	3	1	19

8. 手帳所持状況　（単位:人）

愛護 / 身障	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級	0	0	0	1	4	5
2級	0	2	0	1	5	8
3級	0	1	0	1	3	5
4･5･6級	0	0	1	0	0	1
なし	0	0	0	0	0	0
計	0	3	1	3	12	19

9. 学歴状況　（単位:人）

学歴	小･中　卒	高卒	養護･聾卒	短･専門大　卒	職業訓練校	計
計	3	4	10	2	0	19

10. 登録前歴状況　（単位:人）

前歴	在　宅	学生	他施設	就労者	第二内	計
計	2	2	9	3	3	19

11. 年金受給状況　（単位:人）

種類 / 性別	国民年金 障害基礎年金	厚生年金 障害年金	なし	計
男	6	2	3	11
女	5	1	2	8
計	11	3	5	19

12. 配偶者の有無　（単位:人）

状況 / 性別	有	無	計
男	2	9	11
女	0	8	8
計	2	17	19

13. 補装具使用状況　　（単位：人）

種類 性別	車いす	車いす ＋ 装具	杖	杖 ＋ 装具	装具	なし
計	5	0	1	0	4	9

14. 通所方法　　（単位：人）

等級 交通機関	1	2	3	4	5	6	なし	計
地下鉄	0	0	1	0	0	0	0	1
市バス	0	0	0	0	0	0	0	0
地下鉄と市バス	2	0	0	0	0	1	0	3
地下鉄と その他交通機関	0	0	1	0	0	0	0	1
名鉄	0	0	0	0	0	0	0	0
JR	0	0	0	0	0	0	0	0
2つ以上 の交通機関	0	0	1	0	0	0	0	1
家族及びヘルパーに よる送迎	3	3	2	0	0	1	0	9
リフトタクシー	0	0	0	0	0	0	0	0
タクシー	0	0	0	0	0	0	0	0
車いす自走	0	0	0	0	0	0	0	0
徒歩・自転車	0	1	0	0	0	0	0	1
リフトバス（送迎）	1	1	0	0	0	0	0	2
乗用車（送迎）	0	1	0	0	0	0	0	1
計	6	6	5	0	0	2	0	19

15. 通所時間　　（単位：人）

所要時間	計
30分未満	10
30分～39分	0
40分～49分	2
50分～59分	2
1時間～1時間09分	4
1時間10分～1時間19分	0
1時間20分以上	1
計	19

16. 登録期間の状況　　（単位：人）

期間／性別	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～9年	10年以上	計
計	2	3	4	0	0	3	7	19

17. 年度別退所者数　　（単位：人）

年度	23	24	25	26	27	計
計	2	2	0	1	6	11

18. 現在までの退所理由（過去5年間）　　（単位：人）

理由／性別	他施設	死亡	その他	計
男	4	0	5	9
女	0	0	2	2
計	0	0	7	11

19. 介護状況　　（単位：人）

	起居	移動	食事	更衣	排泄
自立	19	19	19	19	19
部分介助	0	0	0	0	0
全介助	0	0	0	0	0
計	19	19	19	19	19

20. 1か月分工賃状況　　（単位:人）

平均工賃	人数
0～ 2, 000円	5
2, 000～ 4, 000円	8
4, 000～ 6, 000円	4
6, 000～ 8, 000円	2
8, 000～10, 000円	0
10, 000～15, 000円	0
15, 000～20, 000円	0
20, 000～30, 000円	0
30, 000円以上	0
計	19

21. 賞与支払状況

区　分	支払月	支払額	1人当平均	最高額	最低額	支払人数
27年度決算	7月	307,863	19,241	40,566	2,154	16
夏　期	7月	224,421	12,468	25,084	415	18
冬　期	12月	229,543	13,503	25,479	2,184	19
計	年3回	761,827	45,212			

22. 工賃支払状況　　（単位：円）

	４月	５月	６月	決算賞与	７月	８月	夏期手当	９月
人　　数(人)	21	21	20	20	20	19	20	19
支払人数(人)	20	21	19	16	19	18	18	19
当月支払額	41,484	83,931	62,646	307,863	63,140	49,564	224,421	44,645
一人当平均支払額	1,886	3,815	2,848	19,241	2,870	2,360	12,468	2,126
最高支払額	3,900	7,800	6,475	40,566	6,475	5,880	25,084	5,575
最低支払額	34	186	765	2,154	630	495	415	236
出席率（%）	60.8	61.6	54	---	55.5	55.6	---	49.1
稼働日数(日)	21	18	22	---	22	21	---	19

	１０月	１１月	１２月	冬期手当	１月	２月	３月	計
人　　数(人)	19	19	18	18	18	18	19	289
支払人数(人)	18	18	18	17	18	17	19	275
当月支払額	51,692	48,867	23,616	229,543	57,011	45,314	58,517	1,392,254
一人当平均支払額	2,462	2,443	1,312	13,503	3,167	2,517	3,080	5,063
最高支払額	6,300	5,575	3,225	25,479	7,200	5,575	6,475	---
最低支払額	1,002	693	170	2,184	370	505	185	---
出席率（%）	50.8	54.2	52.3	---	53.5	54.5	59.7	55.15
稼働日数(日)	21.0	19	19	---	18.0	20.0	22	242

生活介護事業　生産活動なし　定員２０名　（名身連第二ワークス・第二デイサービス）

１．居住区の状況（Ｈ２８．３．３１現在）　（単位：人）

居住地名									
千種	0	中　村	38	熱　田	0	守　山	0	大 治 町	2
東	0	中	0	中　川	11	緑	0	清 須 市	1
北	1	昭　和	0	港	2	名　東	0	あま市	1
西	4	瑞　穂	0	南	0	天　白	0		
計						市内	56	市外	4

２．月別登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	59	59	58	58	58	60	60	59	59	57	59	60

３．月別新規登録者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4
女	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4
計	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	1	8

４．月別登録辞退者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
女	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	4
計	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5

５．辞退理由　（単位：人）

	他施設	死亡	その他	計
男	1	0	0	1
女	1	2	1	4
計	2	2	1	5

６．年齢・等級別状況　　（単位：人）

等級	1		2		3		4		5		6		なし		計		合計
年齢＼性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
２０歳未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
２０～２４歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
２５～２９歳	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
３０～３４歳	4	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	10
３５～３９歳	2	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	9
４０～４４歳	3	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	11
４５～４９歳	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
５０～５４歳	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
５５～５９歳	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3	3	6
６０歳以上	2	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	1	8	4	12
計	14	19	6	4	6	4	2	0	0	0	0	0	4	1	32	28	60

平均年齢

男 性	44.4 歳
女 性	43.9 歳
男女平均	44.2 歳

障害程度区分　　（単位：人）

区分	人数
6	23
5	9
4	14
3	11
2	3
1	0
計	60

７．障害原因別区分　　（単位：人）

	区分						
	脳性まひ	脳血管障害	外傷	疾病	視覚障害	その他	計
男	6	5	7	11	1	2	32
女	12	3	2	8	1	2	28
計	18	8	9	19	2	4	60

８．手帳所持状況　（単位：人）

身障＼愛護	１度	２度	３度	４度	なし	計
１級	8	0	3	1	21	33
２級	3	0	0	0	7	10
３級	2	0	3	0	5	10
４・５・６級	0	0	0	0	2	2
なし	0	0	0	0	5	5
計	13	0	6	1	40	60

９．学歴状況　（単位：人）

学歴	小・中　卒	高卒	養護　卒	短・専門大　卒	不明	計
計	13	13	28	3	3	60

１０．登録前歴状況　（単位：人）

前歴	在　宅	学生	他施設	就労者	計
計	22	15	23	0	60

１１．年金受給状況　（単位：人）

性別＼種類	国民年金 障害基礎年金	厚生年金 障害年金	なし	計
男	18	5	9	32
女	27	0	1	28
計	45	5	10	60

１２．配偶者の有無　（単位：人）

性別＼状況	有	無	計
男	5	27	32
女	2	26	28
計	7	53	60

１３．補装具使用状況　　（単位：人）

種類	車いす	車いす＋装具	杖	杖＋装具	装具	補聴器	なし
計	28	10	6	3	1	1	11

１４．通所方法　　（単位：人）

等級 / 交通機関	1	2	3	4	5	6	なし	計
地下鉄	0	0	0	0	0	0	0	0
市バス	1	0	0	0	0	0	0	1
地下鉄と市バス	0	0	0	0	0	0	0	0
地下鉄と その他交通機関	0	0	0	0	0	0	0	0
名鉄	0	0	0	0	0	0	0	0
ＪＲ	0	0	0	0	0	0	0	0
２つ以上 の交通機関	0	0	0	0	0	0	0	0
家族及びヘルパー による送迎	14	3	3	0	0	0	2	22
リフトタクシー	2	0	0	0	0	0	0	2
タクシー	0	0	0	0	0	0	0	0
車いす自走	0	0	0	0	0	0	0	0
徒歩	0	0	1	2	0	0	1	4
リフトバス（送 迎）	9	5	3	0	0	0	1	18
乗用車（送迎）	7	2	3	0	0	0	1	13
計	33	10	10	2	0	0	5	60

１５．通所時間　　（単位：人）

所要時間	計
３０分未満	42
３０分～３９分	9
４０分～４９分	7
５０分～５９分	2
計	60

１６．登録期間の状況　（単位：人）

期間 性別	６ヶ月 未満	６ヶ月 ～１年	１年 ～３年	３年 ～５年	５年 ～７年	７年 ～９年	１０年 以上	計
計	7	0	8	8	8	3	26	60

１７．年度別退所者数　（単位：人）

年度	23	24	25	26	27	計
計	3	3	6	4	5	21

１８．現在までの退所理由（過去５年間）　（単位：人）

理由 性別	他施設	死亡	その他	計
男	9	1	1	11
女	5	3	2	10
計	14	4	3	21

１９．介護状況　（単位：人）

	起居	移動	食事	更衣	排泄	入浴
自立	31	10	30	25	17	15
部分介助	13	28	14	18	23	23
全介助	16	22	16	17	20	22
計	60	60	60	60	60	60

平成 27 年度　名身連第二ワークス・第二デイサービス行事一覧

NO	実施日	事　項	主　催	場　所	摘　要
1	4 月 7 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	中村スポーツセンター	自由参加
2	5 月 2 日	名古屋グランパスエイト観戦	名古屋グランパスエイト後援会	瑞穂陸上競技場	自由参加
3	5 月 5 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	愛知県体育館	自由参加
4	5 月 10 日	第 12 回名古屋市 障害者スポーツ大会	名古屋市・他	瑞穂陸上競技場	自由参加
5	5 月 28 日	春季レクリエーション	名身連第二ワークス・第二デイサービス	南知多ビーチランド	自由参加
6	6 月 3 日	名古屋グランパスエイト観戦	名古屋グランパスエイト後援会	瑞穂陸上競技場	自由参加
7	6 月 19 日	春季レクリエーション	名身連第二ワークス・第二デイサービス	南知多ビーチランド	自由参加
8	7 月 9 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	中村スポーツセンター	自由参加
9	7 月 12 日	大相撲名古屋場所	中日新聞社会事業団事務局	愛知県体育館	自由参加
10	8 月 2 日	新日本プロレス観戦	新日本プロレスリング後援会 愛知県本部	愛知県体育館	自由参加
11	8 月 2 日	第 67 回定期演奏会	名古屋シンフォニア管弦楽団	愛知県芸術劇場 コンサートホール	自由参加
12	8 月 12 日	名古屋グランパスエイト観戦	名古屋グランパスエイト後援会	パロマ瑞穂スタジアム	自由参加
13	8 月 23 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	名古屋国際会議場	自由参加
14	8 月 25 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	津島市文化会館	自由参加
15	8 月 26～ 28 日	夏祭り	名身連第二ワークス・第二デイサービス	名身連福祉センター	
16	9 月 17 日	避難訓練		名身連福祉センター	
17	9 月 26 日	名古屋グランパスエイト観戦	名古屋グランパスエイト後援会	パロマ瑞穂スタジアム	自由参加
18	10 月 2 日	ワトト・コンサートツアー2015	タッチ・ザ・ハート・ジャパン	名古屋インターナショナルホール	自由参加
19	10 月 2 日	秋季レクリエーション	名身連第二ワークス・第二デイサービス	花フェスタ記念公園	自由参加
20	10 月 3 日	ワトト・コンサートツアー2015	タッチ・ザ・ハート・ジャパン	名古屋インターナショナルホール	自由参加
21	10 月 8 日	秋季レクリエーション	名身連第二ワークス・第二デイサービス	花フェスタ記念公園	自由参加
22	10 月 28～ 30 日	ハロウィンパーティー	名身連第二ワークス・第二デイサービス	名身連福祉センター	

23	11 月 3 日	名古屋市身体障害者福祉大会	名古屋市・他	中区役所ホール	自由参加
24	11 月 4 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	日本ガイシホール	自由参加
25	12 月 6 日	新日本プロレス観戦	新日本プロレスリング後援会 愛知県本部	愛知県体育館	自由参加
26	12 月 13 日	プロレスリング HEAT-UP 観戦	プロレスリング HEAT-UP	露橋スポーツセンター	自由参加
27	1 月 29 日	新春パーティー	名身連第二ワークス・第二デイサービス	メルパルク NAGOYA	自由参加
28	2 月 10～ 12 日	第 50 回名古屋市 障害者作品展示会見学	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館	自由参加
29	2 月 13 日	第 68 回定期演奏会	名古屋シンフォニア管弦楽団	愛知県芸術劇場 コンサートホール	自由参加
30	3 月 19 日	名古屋グランパスエイト観戦	名古屋グランパスエイト後援会	パロマ瑞穂スタジアム	自由参加
31	3 月 19 日	新日本プロレス観戦	新日本プロレスリング後援会 愛知県本部	愛知県体育館	自由参加
32	3 月 20 日	ドラゴンゲートプロレス観戦	株式会社 ドラゴンゲート	名古屋国際会議場	自由参加
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					

平成２７年度障害者基幹相談支援センター事業報告

＜ポイント＞

今年度は、熱田区障害者基幹相談支援センターを開始して２年目の年です。

熱田区では、名身連本部会館の完成と共に、共同事業体である親愛の里と同じ事務所で事業を開始することが出来た節目の年となりました。地域活動支援センター「ハートランド森」も同一建物で事業を行う事ができ、熱田区障害者基幹相談支援センターとしては漸く本格的活動が開始できた一年となりました。

障害者基幹相談支援センターの中核的業務の一つである自立支援連絡協議会の運営については、滞りなく業務の遂行ができたと思われますが、自立支援連絡協議会の運営が地域の力になったかについては、検証していく必要性があると感じています。

＜報告＞

相談業務について

サテライトと分かれて支援を行っていた頃よりも、相談件数は減少しています。このことは、同じ相談者が２ヶ所にそれぞれ電話をかけていたことが、必要なくなったことが影響しているのではないかと前向きに検討できる反面、同一事務所になった後、相談がなくなった方の存在もあるので、心配すべき材料とも言えます。

計画相談（特定相談支援事業所）広がりの中、相談件数は昨年度よりも減少しています。このことは基幹支援センターの役割が変化していることにもつながるため、相談援助技術の向上と地域づくりを重点的に行う必要性を感じています。

自立支援連絡協議会について

２７年度は、新たに熱田区区民まつりに自立支援連絡協議会として参加できたことと、マックスバリュ千年店で、区内の障害関係事業所が販売を行うことができるようになったことが大きな成果と言えます。また、区内の障害福祉に関わる事業所が多く参加し、防災体験を行うことができました。この取り組みは、参加者の方から好評であったことと、防災への意識を高めると共に、安心につながる事業として、来年度も継続事業となりました。

今後も、地域の方に広く知っていただき、ともに歩んでいける地域づくりに貢献できる、自立支援連絡協議会であるよう運営委員はじめ、区内の方々と共により良い運営をしていきたいと思います。

１．相談支援件数

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計（件）
167	190	138	162	161	169	165	147	147	140	166	168	1,920

（内訳）

利用者内訳（人）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	218	39	0	65	103	6	1	7	221
障害児	10	2	0	7	0	1	0	0	10
合計	228	41	0	72	103	7	1	7	231

※重複障害はそれぞれの障害での人数で表した。

①外来相談　　１５７６件

②訪問相談　　３４４件

訪問相談	同行	個別支援会議	他機関調整	その他	合　計（件）
13	3	1	3	14	34

③自立支援協議会実施回数　　４９回

④認定調査件数　　２５４件

⑤サービス利用計画（延べ件数）１７件

⑥配食サービス　　３0件　（うち新規７件）

平成２７年度中村区障害者基幹相談支援センター事業報告

＜ポイント＞

中村区では、障害者地域生活支援センター時代から考えると、「親愛の里」と同じ事務所での事業運営は３年目となります。お互いに良い意味で慣れることなく、お互いの法人のよさを吸収しながら、業務に励むことができました。また、今年度は認定調査が始まり、３年毎の節目の年であり、件数が非常に多く、認定調査に追われていた感が否めません。

障害者基幹相談支援センターの中核的業務の一つである自立支援連絡協議会の動きとして、今年度は「防災部会」を立ち上げ、避難所支援ガイドブックを作成しました。熊本の地震で更に防災への関心が高まる中、防災部会の存在が地域で安心して暮らせる社会づくりに役立つような活動をしていく必要性があると感じています。

＜報告＞

相談業務について

相談件数の約半数は精神障害の方です。不安や、気分の不安定さを訴える相談が多くの数を占めています。次いでサービスの利用の方法や手続きに関する支援や問い合わせが多く、相談件数の約三分の一を占めています。毎月の平均相談件数は、約３６０件でした。

今年度相談事例の中で、民生委員をはじめ、地域の住民等と共に支援したケースがありました。この事例を通し地域とのつながりの手応えを感じることができました。また、地域での支えあいの必要性について考えさせられるきっかけともなりました。

自立支援連絡協議会について

運営委員を中心に事務局を運営し、今年度は新たに「防災部会」を立ち上げました。防災部会では区役所総務課、当事者団体、同朋大学等と連携し、避難所支援ガイドブックを作成しました。また、児童デイ連絡会でも、防災に関する学習会を開催するなど、防災への意識を高める一年となりました。

地域啓発としては、継続して行なっている中村区区民まつりへの参加や、地域福祉講演会、中高生を対象にした障害施設での中高生夏休みボランティアを開催しました。

地域福祉講演会では、「高齢期の精神疾患」をテーマにし、区内の精神科医を講師に迎えました。その講演会に参加された方から相談につながったケースもあり、自立支援連絡協議会として、地域住民等への啓発活動を通して、地域の支援力を高めていくことが必要だと感じました。

１．相談支援件数

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計（件）
465	364	352	363	354	312	439	336	239	289	397	475	4,385

（内訳）

利用者内訳（人）

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	383	78	2	84	202	8	1	10	385
障害児	12	1	0	9	0	1	0	0	11
合計	395	79	2	93	202	9	1	10	396

※重複障害はそれぞれの障害での人数で表した。

①外来相談　3991件

②訪問相談　394件

訪問相談	同行	個別支援会議	他機関調整	その他	合　計（件）
206	87	61	15	25	394

③自立支援協議会実施回数　46回

④認定調査件数　407件

⑤サービス利用計画（延べ件数）　20件

⑥配食サービス　40件

平成２７年度名身連第一ワークス・第一デイサービス相談事業所

名身連第二ワークス・第二デイサービス相談事業所事業報告

＜ポイント＞

両事業所とも約１４０名の利用者の計画相談を担当しています。今年度は両事業所ともに、利用者本人、利用者家族の高齢化に伴い、新たなサービスの導入としてヘルパー事業所や短期入所先の調整等、サービスの調整で動くことが多かったことが特徴的なことといえます。今年度も引き続き、法人に関わる利用者ばかりでなく様々な地域の障害の方の対応をし、障害を持つ方が安心して住み慣れた地域で生活できるような支援を心がけました。

＜報告＞

平成２７年度は①相談員の資質向上、②相談支援専門員がケースを抱え込まない仕組みの強化を事業目標として掲げ、また、③法人内部のチーム力を高めること、福祉人材の育成を今年度の柱とした事業の運営をしていきました。

①、③については、相談員の資質向上のため、また、利用者に適切な支援ができ、法人内部のチーム力を強化するために、相談職員が講師となり、福祉サービスに関する自主研修会を３回企画し、開催しました（平成 27 年 5 月、7 月、9 月）。

平成 27 年 5 月 26 日
「障害福祉サービスの手続きの流れと
サービスの種類について」

講師；第一相談職員

②については、ケースについて相談部門の職員会議にて共有し、協力体制ができる環境を作り、また、問題ケース、困難ケースについては、各区の基幹相談支援センターやいきいき支援センター等の関係機関と連携し、担当者会議の開催や必要であれば同行訪問等を行い、支援を進めていきました。

また、介護保険に移行する利用者の数を把握し、一度に利用者が大幅に減少しないことも含めた事業運営や、利用者の利益と事業の効率を視野に入れた事業運営も、事業目標として掲げました。この点については、毎月の経営会議の資料として、全利用者数および６５歳以上の利用者数、当月の介護保険移行者数、新規登録者数を報告し、常に経営を意識して業務に取り組みました。

平成２７年度

１．計画相談支援件数　（名身連第一ワークス・第一デイサービス相談事業所）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計（件）
計画作成	10	13	16	13	8	16	9	12	16	12	12	25	162
モニタリング	16	20	17	15	19	29	17	14	15	16	8	16	202

（内訳）

	身体障害	知的障害	精神障害	合計
計画作成	123	9	30	162
モニタリング	135	21	46	202

２．基本相談支援件数（延べ件数）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計（件）
29	89	91	139	122	83	114	69	79	151	127	167	1,260

（内訳：実利用人数）　　※（　）内の数字は重複人数

	身体障害	知的障害	精神障害	障害児	合計
就労	23	16	1		40
日中活動	110	20	73	1	204
在宅生活	479	2	132		613
その他	240	8	155		403
合計	852	46	361	1	1260

１．計画相談支援件数　（名身連第二ワークス・第二デイサービス相談事業所）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計（件）
計画作成	9	17	14	17	13	17	16	17	11	9	11	19	170
モニタリング	14	19	18	12	18	27	15	16	21	12	19	24	215

（内訳）

	身体障害	知的障害	精神障害	障害児	合計
計画作成	120	13	30	7	170
モニタリング	150	19	43	3	215

２．基本相談支援件数（延べ件数）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計（件）
98	90	96	128	87	86	110	102	108	166	183	220	1,474

（内訳）

	身体障害	知的障害	精神障害	障害児	合計
就労	33	10	38	36	117
日中活動	74	6	48	6	134
在宅生活	781	36	286	5	1108
その他	74	24	14	3	115
合計	962	76	386	50	1474

平成２７年度名身連聴覚言語障害者情報文化センター事業報告ポイント

手話通訳者の派遣件数は依然として伸びています。要約筆記者の派遣件数は横ばい状態ですが、手書き要約の依頼が少しずつ減り、パソコン要約の依頼が少しずつ伸びてきています。２８年４月からの障害者差別解消法施行に伴い、今後は手話・要約筆記ともに派遣依頼数の増加が想定されるため、通訳者の増員・確保や派遣のコーディネイトなど、対策を考えていく必要があります。

また、かねてよりニーズの高かった救急搬送時における手話通訳者派遣について、実施に向けて取り組みを行い、２８年６月から開始できることとなりました。

広域派遣についても手話は前年度比１．７倍の伸びをみせており、内容も多岐にわたります。一方で要約筆記はまだ少ないため、通常の派遣制度と合わせてホームページなどでさらに周知をしていきたいと思います。

盲ろう派遣については、２７年度より委託事業が愛知県と名古屋市に分かれましたが、件数・時間数ともに大幅に伸びています。盲ろう者の社会参加の機会を確保しつつ、適正な利用についても働きかけの必要性を感じています。

平成２７年度名身連聴覚言語障害者情報文化センター事業報告

聴言センターの事業は、主に「コミュニケーション支援」「情報提供事業」「社会教育事業」「相談事業」に分かれます。平成 27 年度においての特徴や主な取り組みの内容は下記のとおりです。

＜コミュニケーション支援＞

〇派遣事業

手話通訳者派遣は、平成 26 年度の 3,183 件から 395 件増加し、平成 27 年度は 3,578 件（広域派遣除く）でした。これは過去 5 年間で最大の伸び率で、5 年前（平成 22 年度）と比べて約 1.7 倍の派遣件数となりました。平成 27 年度の特徴としては、平成 26 年度と同様に医療・健康にかかる派遣が 330 件も伸びており、利用者の高齢化が顕著に表れています。また、医療機関や相談機関、障害者施設からの依頼や問い合わせも増えていることから、今後も利用増が見込まれます。さらに広域派遣（名古屋市外および愛知県外への公費による派遣）についても平成 26 年度の 60 件から 40 件（約 1.7 倍）増えて、平成 27 年度は 100 件となりました、内訳として、平成 26 年度に多かった医療はもちろんのこと、昨年度と比べて教養と生活にかかる派遣が増えてきていることから見ても、今後もニーズの広がりが予想されます。また、平成 28 年 6 月から救急搬送時に医療機関へ手話通訳者を派遣する事業がスタートするため、平成 28 年 2 月より当事者団体や手話通訳者への事前説明会を開催しました。今後は緊急搬送時の手話通訳者派遣が 24 時間 365 日対応可能となるため、円滑な事業運用を目指して綿密な準備をしていくことが課題です。

要約筆記者派遣について、件数は手書き要約筆記が減少し、パソコン要約筆記が増加しました（手書き要約筆記：平成 26 年度 280 件→平成 27 年度 275 件／パソコン要約筆記：平成 26 年度 76 件→平成 27 年度 93 件）。手書き要約筆記とパソコン要約筆記をトータルで見ると平成 26 年度と比べ緩やかな増加となっています（平成 26 年度 356 件→平成 27 年度 368 件）。項目別では医療･健康の件数が平成 26 年度に引き続き増加し、平成 26 年度に比べ 1.5 倍増加しました（平成 26 年度 30 件→平成 27 年度 44 件）。継続的に利用する人が増えたことが要因で、今後も増加が予想されます。広域派遣については、平成 26 年度から大きな増加はなく（平成 26 年度 1 件→平成 27 年度 3 件）、周知に力をいれていく必要があります。

盲ろう者向け通訳･介助員派遣については、平成 27 年度より委託事業が県と市に分かれました。昨年度に比べ利用件数が 253 件増加（平成 26 年度 1,126 件→平成 27 年度 1,379 件）、利用時間が 541 時間と大幅な利用増となりました（平成 26 年度 4,729 時間→平成 27 年度 5,270 時間）。項目別で見ると、「教養」が多数を占めています。「教養」の中には趣味の活動が含まれます。盲ろう者の多くは、単独での外出が難しく、家に引きこもりがちですが、通訳・介助員派遣制度を利用してスポーツジムや勉強会などに通い、積極的に社会参加をする人が増えてきています。

平成 28 年度からは障害者差別解消法が施行されることもあり、派遣件数の増加が想定されます。通訳者の確保や派遣のコーディネイトなど、対策を考えていくことが必要となります。

〇研修事業

手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳･介助員を対象に、合同研修を 2 回開催しました。1 回目は障害者差別解消法の施行を前に、名古屋市職員を講師に迎え「人権施策と障害者差別解消法」について学びました。障害者の人権を擁護する立場として差別とは、合理的配慮

とは何か改めて考える機会となりました。2 回目は通訳者の職業病といわれている頸肩腕障害について学び、参加者からは「通訳時間、交替の必要性、健康管理の大切さを知ることができてよかった」「日頃のストレッチ体操を心がけたい」等の感想が寄せられました。

手話通訳者研修については、「ろう者に伝わる手話通訳」をテーマに、日本語の特性・手話の特性を理論的に学び、それに基づいた実技指導を受けました。

要約筆記者研修について、技術やチームワーク力の向上を目的とした技術研修を 2 回行いました。事例検討では要約筆記者の倫理要綱の理解を深めることを目的とし、事例の問題点を倫理要綱に基づき解決し、行動することの重要性を学びました。

盲ろう者向け通訳･介助員研修については、静岡から寺田絹枝氏（盲ろう者）と今村芸子氏（通訳・介助員）のお二人をお招きしました。盲ろう者にとって「離れた状態」とはどういう場面なのか、また、どんな気持ちになるのかを当事者として寺田氏にお話しいただきました。盲ろう疑似体験を実施し、全く見えない聴こえない状況を体験することで、情報提供の必要性を実感する研修となりました。また、実際の活動の対応場面から、通訳・介助員同士の対応についての情報交換ができる機会を提供できました。

〇養成事業

手話奉仕員養成については、平成 26 年度同様「手話奉仕員 1（1 年目）」「手話奉仕員 2（2 年目）」どちらも定員を超える応募がありました。しかしその反面、手話奉仕員として登録される方が少ないという課題が浮き彫りになったため、今後は手話奉仕員の登録の働きかけや、活動の場を増やすなどの検討が必要です。

手話通訳者養成についても平成 26 年度に引き続き、委託事業として「手話通訳者養成講習会Ⅰ（1 年目）」「手話通訳者養成講習会Ⅱ（2 年目）」の 2 コースを開講しました。新規募集となるⅠについては定員の 1.7 倍の申込みがありましたが、書類選考の結果 18 名が受講し、最終的には 15 名が修了されました。Ⅱについては平成 27 年度のⅠ受講者（16 名）がそのまま持ち上がり、最終的に修了された方は 14 名でした。

要約筆記者養成については、手書き要約筆記 9 名、パソコン要約筆記 5 名でスタートし、家庭や仕事の都合で断念した人もいましたが手書き要約筆記 8 名、パソコン要約筆記４名が修了しました。

修了率は 86%と受講生の熱意、講師のご尽力もありここ数年で一番高いものでした。要約筆記の周知も少しずつ広がり、養成講座の受講希望者も年々増加しています（平成 26 年度 12 名→平成 27 年度 14 名）。名古屋市の要約筆記者として活動するには認定試験をクリアする必要がありますが、平成 27 年度は手書き要約筆記修了者 9 名のうち 6 名、パソコン要約筆記修了者 4 名のうち 2 名が合格し、合格率は手書き要約筆記が 67%、パソコン要約筆記が 50%と、全国の合格率（手書き要約筆記 28%、パソコン要約筆記 29%）と比べるととても高い結果でした。今後も引き続き要約筆記の周知に力を入れ、登録者を増やすことが課題となります。

〇その他

コミュニケーション機器の貸出については、要約筆記の派遣数と連動してパソコン要約機器の需要が伸びています。平成 26 年度は OHP が 1 件、OHC は 79 件、パソコンは 54 件でしたが、平成 27 年度は OHP が０件、OHC は 64 件、パソコンは 69 件となりました。また、補聴システムとしての磁気ループは、平成 26 年度の 22 件から 21 件と、1 件減少しました。平成 28 年度からの障害者差別解消法が施行に伴い、コミュニケーション機器の貸し出しも増加することが想定されます。

中継サービスは、平成 26 年度の 417 件から 595 件と大幅に増加しました。近年、メールの普及により、聴覚障害者の方が気軽に依頼できるようになったことも増加の理由のひとつに挙げられると思います。来館での依頼には、内容的に中継サービスの範囲を超えるようなものも増えており、全てを中継サービスで受け止めることが難しくなってきています。また、問合せ方法が電話のみで聴覚障害者が直接問い合わせることができないケースもまだ多くあります。その中でも、聴言センターが代理で電話をしても、電話のやりとりが本人でないという理由で、先方から受け入れを拒否されるケース（クレジットカードの解約やインターネットサービスの解約など）もありました。内容によっては、聴言センターが聴覚障害者の代わりに電話をして簡単に終了するのではなく、聴覚障害者が直接問合せできるよう、FAX やメールでの対応を企業やお店に依頼するなど、聴言センターより聴覚障害の理解を求める働きかけも引き続き行っていく必要があります。

＜情報提供事業＞

平成 27 年度から 28 年度にかけて、聴覚障害者の暮らしに関わる制度の施行や改正が相次ぎ、情報誌でもそれらを中心に取り上げました。第 1 号では全国的に広がりを見せつつある「音声認識システム」を特集しました。聴覚障害者にとっても欠かせない存在になってきているスマートフォンでも、音声認識システムを利用したアプリが増えてきています。2 号では「障害年金の認定基準の一部改正について」、3 号では「マイナンバー制度」について一歩踏み込んだ内容を取り上げました。4 号では平成 28 年 4 月から施行となった「障害者差別解消法」について、ポイントを具体的に取り上げました。記事作成、編集の際には、できるだけわかりやすい文章、一般記事だけでなく聴覚障害者にとって役立つ情報を少しでも多く盛り込むことを心掛けています。

ビデオ制作については、昨年度に引き続き 27 年度も取り組むことができませんでした。今後はビデオ制作にかかる基礎知識や技術を職員が習得していくことが課題です。

ビデオ貸出し事業については、年々減少しています（平成 25 年度 527 本→平成 26 年度 263 本→平成 27 年度 232 本）が、市内の聾学校への出前貸出は年 2 回実施しました（2 箇所）。入荷するビデオについて、手話や要約筆記を学ぶ方々、聴覚障害者を支援する方々にも役立つ DVD も多数取り揃えているため、聴覚障害者だけでなく健聴者にもご利用いただけるよう PR を行っていきます。

＜相談事業＞

聴覚障害者相談は前年度より減少しました（平成 26 年度 32 件→平成 27 年 20 件）。件数の減少は、まず積極的な支援活動ができなかったことが要因です。また、生活全般にわたる継続的な支援が必要なケースは、地域の障害者基幹相談支援センターや、聴覚障害者支援事業所との連携による役割分担により、聴言センターの直接的なかかわりが減っています。また、当事者の情報不足や理解（読解力含む）困難な面での支援や、中継サービスの中で支援要素も含む関わり等は、日常的にあり相談員以外の職員による対応も少なくありません（件数含まず）。

聴覚障害者相談員研修会では、名古屋市職員をお招きし、28 年 4 月より施行される「障害者差別解消法」をテーマとした研修を行いました。法の施行を機に今後、差別に関する相談を受けたり、一般社会の中で差別と思われる場面に遭遇した時に、障害当事者による相談員としてどう対応したらよいか、講義とグループワーク等で学びました。講義では、差別や合理的配慮

などについて知識を深め、グループワークでは聴覚障害に焦点をあてた事例をもとに議論しました。議論や質疑応答等の中で、相談員としてのこれまでの経験に基づく多角な視点も伺えました。

＜社会教育事業＞

〇社会講座

平成 27 年度も当事者個人や団体の要望を多く取り入れました。１日講座で特に参加が多かったのは、マイナンバー制度についての説明会で、同制度に対する関心の高さを感じました。福祉バスを利用しての日帰りツアーも、毎回人気の高い講座です。27 年度前期はうなぎパイエ場と浜松エアーパーク、後期には杉原千畝記念館の見学を企画し、どちらもすぐに定員が埋まってしまいました。「美文字教室」は講師が自ら手話を学んでわかりやすく講義を進めていただき、受講者の評判も高く、28 年度に長期講座として継続することとなりました。静岡から聴覚障害者のパティシエをお招きした「ケーキ作り」も、「本格的なケーキ作りを学べてよかった」という声をいただいています。「音声認識体験会」では、よく使用するスマートフォンのアプリでも音声認識が使用できることを知ったり、最新の音声認識の機器にも触れることができました。参加者の皆さんも興味津々で、あちこちのブースで質問されている方がたくさんいらっしゃいました。長期講座の「手話教室（初級）」「読話教室」、年間講座の「手話倶楽部」は学習以外にも、同障者との仲間作りや交流の場としても大きな役割を果たしています。

〇IT 技術向上支援事業

平成 26 年度に引き続き、マンツーマンによる指導で初心者向けの「入門」「ワード初級」「エクセル初級」を開催しました。予算の関係で年間 7 名、1 名あたり 6 時間と限定しましたが、1 度受講した方よりステップアップを望む声もあったため、新規の方との調整を図りつつ、リピーターにも学ぶ機会を増やせるよう配慮しました。

社会講座『ケーキ作り』

社会講座『どうなる？マイナンバー』

手話通訳者派遣状況報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

項目 月別	1 医療・健康	2 教育・保育	3 労働・	4 行政・政治	5 司法・警察	6 住宅	7 財産・税務	8 生活	9 行事 スポーツ	10 行事 その他	11 会議	12 教養	13 社会講座	14 ろうあ相談	15 テレビ	16 その他	月合計	累計	広域	主催
4	168	45	68	6	5	7	0	26	5	0	46	15	0	0	0	0	391	391	20	66
	(168)	(38)	(29)	(3)	(5)	(7)	(0)	(24)	(4)	(0)	(25)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(310)	(310)	(16)	(25)
5	140	35	22	2	7	2	1	17	19	15	45	49	0	0	0	0	354	745	10	22
	(140)	(31)	(17)	(2)	(7)	(2)	(1)	(17)	(5)	(6)	(24)	(26)	(0)	(0)	(0)	(0)	(278)	(588)	(8)	(10)
6	146	25	27	0	4	3	0	28	5	5	54	48	0	0	0	0	345	1090	13	30
	(146)	(22)	(18)	(0)	(4)	(3)	(0)	(26)	(3)	(3)	(29)	(25)	(0)	(0)	(0)	(0)	(279)	(867)	(11)	(14)
7	134	24	11	2	10	19	2	32	3	3	35	45	3	0	0	2	325	1415	10	23
	(134)	(21)	(8)	(1)	(10)	(18)	(2)	(28)	(2)	(3)	(20)	(26)	(2)	(0)	(0)	(1)	(276)	(1143)	(9)	(13)
8	139	19	13	0	3	6	1	31	3	29	38	30	2	0	0	1	315	1730	13	26
	(139)	(11)	(10)	(0)	(3)	(6)	(1)	(31)	(1)	(13)	(22)	(15)	(1)	(0)	(0)	(1)	(254)	(1397)	(11)	(12)
9	172	23	18	1	9	7	1	37	8	9	46	53	4	0	0	2	390	2120	10	33
	(172)	(19)	(13)	(1)	(9)	(7)	(1)	(32)	(5)	(5)	(26)	(29)	(2)	(0)	(0)	(2)	(323)	(1720)	(8)	(19)
10	198	31	37	0	6	7	0	25	9	30	41	58	2	0	0	6	450	2570	4	47
	(198)	(28)	(19)	(0)	(6)	(7)	(0)	(25)	(8)	(14)	(23)	(33)	(1)	(0)	(0)	(6)	(368)	(2088)	(4)	(22)
11	181	14	35	0	4	1	1	37	7	22	38	73	6	0	0	5	424	2994	13	43
	(181)	(13)	(17)	(0)	(4)	(1)	(1)	(34)	(6)	(12)	(21)	(43)	(3)	(0)	(0)	(5)	(341)	(2429)	(9)	(22)
12	197	15	30	25	3	4	0	26	1	12	26	60	4	0	0	7	410	3404	10	41
	(197)	(15)	(13)	(12)	(3)	(4)	(0)	(24)	(1)	(6)	(14)	(32)	(2)	(0)	(0)	(7)	(330)	(2759)	(9)	(20)
1	161	22	19	13	6	1	1	21	1	12	29	62	4	0	0	4	356	3760	0	30
	(161)	(20)	(9)	(7)	(6)	(1)	(1)	(19)	(1)	(7)	(17)	(34)	(2)	(0)	(0)	(4)	(289)	(3048)	(0)	(16)
2	149	29	40	0	3	3	5	9	3	10	37	89	0	0	0	4	381	4141	5	60
	(149)	(26)	(16)	(0)	(3)	(3)	(5)	(8)	(2)	(6)	(22)	(45)	(0)	(0)	(0)	(3)	(288)	(3336)	(5)	(25)
3	187	21	30	8	2	2	4	21	12	19	58	86	0	0	0	0	450	4591	15	32
	(187)	(20)	(13)	(4)	(2)	(2)	(4)	(18)	(7)	(11)	(33)	(41)	(0)	(0)	(0)	(0)	(342)	(3678)	(10)	(14)
合計	1972	303	350	57	62	62	16	310	76	166	493	668	25	0	0	31	4591		123	453
	(1972)	(264)	(182)	(30)	(62)	(61)	(16)	(286)	(45)	(86)	(276)	(356)	(13)	(0)	(0)	(29)	(3678)		(100)	(212)

( )内の数字は実派遣数

要約筆記者派遣状況報告書（手書き）

平成27年4月1日～平成28年3月31日

項目 月別	1 医療・ 健康	2 教育・ 保育	3 労働・	4 行政・ 政治	5 司法・ 警察	6 住宅	7 財産・ 税務	8 生活	9 行事 スポーツ	10 行事 その他	11 会議	12 教養	13 社会 講座	14 ろうあ 相談	15 テレビ	16 その他	月合計	累計	広域	主催
4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	22	9	0	0	0	0	35	35	2	4
	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(7)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(14)	(14)	(1)	(2)
5	4	0	0	0	0	0	0	0	5	0	23	15	0	0	0	0	47	82	0	0
	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(7)	(4)	(0)	(0)	0	(0)	(16)	(30)	(0)	(0)
6	4	0	2	0	0	0	0	1	3	0	19	32	4	0	0	0	65	147	0	5
	(4)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(5)	(9)	(1)	(0)	(0)	(0)	(22)	(52)	(0)	(2)
7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	24	20	0	0	0	62	209	0	0
	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(8)	(5)	(0)	(0)	(0)	(22)	(74)	(0)	(0)
8	6	0	0	0	0	0	0	0	3	4	8	26	17	0	0	0	64	273	0	0
	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(3)	(10)	(5)	(0)	(0)	(0)	(26)	(100)	(0)	(0)
9	5	0	0	0	0	0	0	0	3	3	11	22	14	0	0	0	58	331	0	4
	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(3)	(9)	(4)	(0)	(0)	(0)	(23)	(123)	(0)	(2)
10	2	0	2	0	0	0	0	0	0	7	14	26	1	0	0	0	52	383	0	2
	(2)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(4)	(9)	(1)	(0)	(0)	(0)	(19)	(142)	(0)	(1)
11	5	0	0	0	0	0	0	0	3	10	14	37	10	0	0	0	79	462	1	0
	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)	(4)	(11)	(3)	(0)	(0)	(0)	(27)	(169)	(1)	(0)
12	1	0	0	17	0	0	0	0	0	7	5	43	6	0	0	0	79	541	0	0
	(1)	(0)	(0)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	(13)	(2)	(0)	(0)	(0)	(27)	(196)	(0)	(0)
1	2	2	0	7	0	0	0	1	0	2	12	30	6	0	0	0	62	603	0	0
	(2)	(1)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(4)	(11)	(2)	(0)	(0)	(0)	(25)	(221)	(0)	(0)
2	5	0	0	0	0	0	0	0	1	6	17	49	0	0	0	0	78	681	2	2
	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(8)	(16)	(0)	(0)	(0)	(0)	(32)	(253)	(1)	(1)
3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	31	0	0	0	0	55	736	0	4
	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(4)	(11)	(0)	(0)	(0)	(0)	(22)	(275)	(0)	(2)
合計	44	3	6	24	0	0	0	2	18	45	172	344	78	0	0	0	736		5	21
	(44)	(2)	(3)	(10)	0	0	0	(2)	(6)	(15)	(55)	(115)	(23)	0	0	0	(275)		(3)	(10)

（ ）内の数字は実派遣数

要約筆記者派遣状況報告書（パソコン要約）

平成27年4月1日～平成28年3月31日

項目 月別	1 医療・健康	2 教育・保育	3 労働・	4 行政・政治	5 司法・警察	6 住宅	7 財産・税務	8 生活	9 行事 スポーツ	10 行事 その他	11 会議	12 教養	13 社会講座	14 ろうあ相談	15 テレビ	16 その他	月合計	累計	広域	主催
4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	8 (2)	0 (0)	0 (0)
5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (2)	16 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (8)	32 (10)	0 (0)	8 (3)
6	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	4 (1)	14 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (7)	58 (17)	0 (0)	6 (2)
7	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	66 (19)	0 (0)	4 (1)
8	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	3 (1)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (4)	81 (23)	0 (0)	0 (0)
9	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	25 (7)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (10)	115 (33)	0 (0)	10 (3)
10	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (7)	140 (40)	0 (0)	9 (3)
11	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (3)	0 (0)	22 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (9)	172 (49)	0 (0)	4 (1)
12	0 (0)	0 (0)	3 (1)	10 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (3)	4 (1)	17 (5)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (14)	220 (63)	0 (0)	16 (5)
1	0 (0)	0 (0)	2 (1)	12 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	3 (1)	20 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (11)	261 (74)	0 (0)	2 (1)
2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)	0 (0)	19 (5)	0 0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (7)	285 (81)	0 (0)	0 (0)
3	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (3)	12 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (12)	318 (93)	0 (0)	0 (0)
合計	0 (0)	0 (0)	5 (2)	38 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	46 (13)	33 (10)	186 (51)	8 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	318 (93)		0 (0)	59 (19)

（ ）内の数字は実派遣数

盲ろう者向け通訳・介助員派遣状況報告書

盲ろう者向け通訳・介助員派遣状況報告書

平成27年4月～平成28年3月

項目																		
月別	医療機関	教育・保育	官公庁	金融機関	司法・警察	住宅	財産・税務	生活		行　事		団体活動	教養	代読・代筆	手引き	その他	合計	時間数
								買物	その他	スポーツ	その他							
4月	21	0	3	0	1	0	0	20	11	0	8	9	37	2	3	0	115	416
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(2)	(8)	( )	( )	( )	( )	(10)	
５月	12	0	0	0	0	0	0	18	16	1	12	6	30	2	15	3	115	428
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4)	(4)	( )	( )	( )	( )	(8)	
６月	15	0	0	0	0	0	0	17	14	0	5	2	54	3	9	0	119	378
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(1)	( )	( )	(4)	(2)	(7)	( )	( )	( )	(14)	
７月	17	0	0	0	0	0	0	24	17	0	0	7	38	2	8	4	117	421
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4)	(6)	( )	( )	( )	(10)	
8月	13	0	0	0	0	1	0	15	23	0	3	10	34	1	17	0	117	415
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4)	(2)	( )	( )	( )	(6)	
9月	10	0	0	0	0	0	0	22	19	0	8	5	40	2	15	1	122	413
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(2)	(4)	(4)	( )	( )	( )	(10)	
10月	16	0	0	0	0	0	0	15	23	1	5	10	45	5	8	1	129	481
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(2)	(2)	( )	( )	( )	(4)	
11月	16	0	1	0	0	0	0	18	18	0	4	12	34	1	5	1	110	406
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4)	( )	( )	( )	( )	(4)	
12月	21	0	2	0	0	0	0	27	17	0	5	9	36	2	11	2	132	519
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(2)	(4)	( )	( )	(2)	(8)	
1月	16	0	0	1	0	0	0	23	20	0	4	9	37	2	4	1	117	457
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(2)	(4)	(2)	( )	( )	( )	(8)	
2月	20	0	1	0	0	0	0	25	22	0	1	5	35	0	9	6	124	464
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4)	( )	( )	(6)	(10)	
3月	14	0	2	0	0	0	0	24	17	0	9	15	35	0	3	0	119	472
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(4)	(14)	(4)	( )	( )	( )	(22)	
合計	191	0	9	1	1	1	0	248	217	2	64	99	455	22	107	19	1,436	5,270
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(1)	( )	( )	(18)	(52)	(35)	( )	( )	(8)	(114)	

()内の数字は複数派遣数

##

##

手話奉仕員養成講習会(奉仕員１コース)

（１）期間　　平成 27 年 5 月 7 日 ～ 平成 28 年 1 月 28 日
　　毎週木曜日　全 35 回　計 70 時間

（２）時間　　午後の部　　13：30 ～ 15：30
　　夜間の部　　18：30 ～ 20：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　午後の部　　吉田　陽子　　山田　映子
　　夜間の部　　松浦　佳代　　山口　光子

（５）受講者数・修了者数

クラス	受講者数	修了者数
午後の部	53	36
夜間の部	49	36
計	102	72

手話奉仕員養成講習会(奉仕員　2コース)

（１）期間　　平成27年5月8日 ～ 平成28年1月29日
　　毎週金曜日　全35回　計70時間

（２）時間　　午後の部　　13：30 ～ 15：30
　　夜間の部　　18：30 ～ 20：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　午後の部　　佐藤　愛子　　荒川　智子
　　夜間の部　　加藤　直樹　　北村　奈緒子

（５）受講者数・修了者数・手話奉仕員登録者数

クラス	受講者数	修了者数	登録者数
午後の部	45	31	15
夜間の部	64	35	14
計	109	66	29

手話通訳者養成講習会（手話通訳者Ｉコース）

（１）期間　　平成 27 年 4 月 13 日 ～ 平成 28 年 3 月 14 日
毎週月曜日　41 回　　土曜日　4 回　全 45 回　　計 90 時間

（２）時間　　月曜日　18：30 ～ 20：30
土曜日　13：30 ～ 15：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　平野　千博
徳山　公子

（５）受講者数・修了者数

クラス	受講者数	修了者数
夜の部	18	15

手話通訳者養成講習会（手話通訳者Ⅱコース）

（１）期間　　平成 27 年 4 月 23 日 ～ 平成 28 年 3 月 10 日
　　毎週木曜日　全 45 回　計 90 時間

（２）時間　　13：30 ～ 15：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　河口　一恵
　　青山　純子

（５）受講者数・修了者数

クラス	受講者数	修了者数
午後の部	17	14

名身連手話講習会（ろうネイティブコース）

〔月曜コース〕

（１）期間　　平成 27 年 5 月 11 日 ～ 平成 28 年 2 月 29 日
　　毎週月曜日　全 35 回　計 70 時間

（２）時間　　13：30 ～ 15：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　藤井 裕

〔金曜コース〕

（１）期間　　平成 26 年 5 月 15 日 ～ 平成 27 年 2 月 12 日
　　毎週金曜日　全 35 回　計 70 時間

（２）時間　　18:30 ～ 20:30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　河口　一恵

受講者数・修了者数

クラス	受講者数	修了者数
月曜コース	19	18
金曜コース	13	7
計	32	25

要約筆記者養成講習会（手書きコース）

（１）期間　　平成 27 年 4 月 13 日(月) ～平成 28 年 2 月 8 日(月)
　　毎週月曜日（35 回)、土曜日（6 回）　　全 41 回　計 86.5 時間

（２）時間　　月曜日　18：30～20：30
　　土曜日　10：00～12：00　　13：00～15：00　　13：00 ～ 16：00
　　13：00～16：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　荒川　清美　　高木　いづみ　　山岡　千恵子　　松井　美智子
　　大嶋　千波　　若山　孝枝　　池内　久美子
　　名身連職員（谷川　陽美　　久野　寿枝　　鎌田　順子）

（５）特別講義　「日本語の特徴」　　愛知教育大学　教育学部
　　教授　小田　侯朗

　　「日本語の表記」　　鹿島　浩
　　「日本語の語彙と用法」

　　「聴覚障害者運動と手話」　　金城学院大学現代文化学部
　　教授　林　智樹

　　「社会福祉の基礎知識Ⅱ　　名古屋市健康福祉局障害福祉部
　　～当該自治体の障害者福祉制度」　　障害企画課　厚生係長　原　優介

　　「対人援助」　　萬歳　芙美子

　　「社会福祉の基礎知識Ⅰ」　　名城法律事務所豊田事務所
　　弁護士　田中　伸明

　　「中途失聴・難聴者の臨床心理」　　社会福祉法人聴力障害者情報文化センター
　　「カウンセリングの基礎理論」　　施設長　森　せい子

（６）受講者数　　9 名

（７）修了者数　　8 名

要約筆記者養成講習会（パソコンコース）

（１）期間　　平成 27 年 4 月 13 日(月) ～平成 28 年 2 月 8 日(月)
　　毎週月曜日（35 回)、土曜日（6 回）　　全 41 回　計 86.5 時間

（２）時間　　月曜日　18：30～20：30
　　土曜日　10：00～12：00　　13：00～15：00　　13：00 ～ 16：00
　　13：00～16：30

（３）会場　　名身連福祉センター

（４）講師　　荒川　清美　　高木いづみ　　山岡　千恵子　　松井　美智子
　　大嶋　千波　　金剛　弘美
　　名身連職員（谷川　陽美　　久野　寿枝　　鎌田　順子）

（５）特別講義　「日本語の特徴」　　愛知教育大学　教育学部
　　教授　小田　侯朗

　　「日本語の表記」　　鹿島　浩
　　「日本語の語彙と用法」

　　「聴覚障害者運動と手話」　　金城学院大学現代文化学部
　　教授　林　智樹

　　「社会福祉の基礎知識Ⅱ　　名古屋市健康福祉局障害福祉部
　　～当該自治体の障害者福祉制度」　　障害企画課　厚生係長　原　優介

　　「対人援助」　　萬歳　芙美子

　　「社会福祉の基礎知識Ⅰ」　　名城法律事務所豊田事務所
　　弁護士　田中　伸明

　　「中途失聴・難聴者の臨床心理」　　社会福祉法人聴力障害者情報文化センター
　　「カウンセリングの基礎理論」　　施設長　森　せい子

（６）受講者数　　5 名

（７）修了者数　　4 名

手話通訳者研修会

月日	内容・テーマ	講師	参加者数
2 月 28 日(日)	講演　名古屋市の人権施策と 障害者差別解消法 （３派遣合同研修）	名古屋市健康福祉局障害福祉部 障害企画課　職員	22
3 月 6 日(土)	講演　頸肩腕障害を防ごう （３派遣合同研修）	滋賀医科大学社会医学講座 衛生学部門准教授 垰田　和史	7
3 月 20 日(日)	講演・実技 ろう者に伝わる手話通訳① ※午前の部	国立障害者リハビリテーション センター学院手話通訳学科教官 宮澤　典子	28
3 月 20 日(日)	講演・実技 ろう者に伝わる手話通訳② ※午後の部	国立障害者リハビリテーション センター学院手話通訳学科教官 宮澤　典子	22

要約筆記者研修会

月日	内容・テーマ	講師	参加者数
12 月 15 日（火）	技術研修　全体投影 （手書き登録者対象）	山岡　千恵子　　大嶋　千波	10
12 月 19 日（土）	技術研修　全体投影 （パソコン登録者対象）	松井　美智子　　金剛　弘美	6
2 月1日（火）	中途失聴・難聴者の臨床心理 カウンセリングの基礎理論	聴力障害者情報文化センター 森　せい子	16
2 月 28 日（日）	講演　名古屋市の人権施策と 障害者差別解消法 （3派遣合同研修）	名古屋市健康福祉局福祉部 障害企画課　職員	14
3 月 6 日（日）	講演　頸肩腕障害を防ごう （3派遣合同研修）	滋賀医科大学社会医学講座 衛生学部門准教授 垰田　和史	10
3 月 21 日（月）	事例検討会	山岡　千恵子　　松井　美智子	15
3 月 21 日（月）	総合支援法における 福祉サービスについて	名身連職員　羽生　ひろみ	17

盲ろう者向け通訳・介助員研修会

月日	内容・テーマ	講師	参加者数
2月7日(日)	講演　通訳・介助の基本 離れない！	寺田　絹枝　氏 今村　芸子　氏	15
2月28日(日)	講演　名古屋市の人権施策と障害者差別解消法 （３派遣合同研修）	名古屋市健康福祉局障害福祉部 障害企画課　職員	4
3月6日(日)	講演　頸肩腕障害を防ごう （３派遣合同研修）	滋賀医科大学社会医学講座 衛生学部門准教授 垰田　和史　氏	2

名古屋市要約筆記者認定試験対策講座

月日	時間	講師	参加者数	
			手書き	PC
12月17日（木）	18：30～20：30	山岡千恵子 松井美智子	5	3
1月14日（木）	18：30～20：30		7	2
1月29日（木）	18：30～20：30		4	2
2月 5日（金）	18：30～20：30		6	2
2月15日（月）	18：30～20：30		6	3

手話奉仕員派遣

（１）登録者　　14 名（更新 5 名 ＋ 新規 9 名）

（２）派遣内容と人数

月日	内容	派遣人数
4 月 4 日(土)	フリーマーケット（個人依頼）	1
5 月 10 日(日)	第 12 回名古屋市障害者スポーツ大会	5
6 月 24 日(水)	中川区聴覚障害者協会バスツアー	2
8 月 3 日(月)	社会講座「うなぎパイファクトリーとエアーパーク見学」	2
10 月 31 日(土)	名古屋聾学校文化祭	2
11 月 8 日(日)	フリーマーケット（個人依頼）	1
12 月 1 日(火)	社会講座「杉原千畝記念館見学バスツアー」	2
12 月 5 日(土)	フリーマーケット（個人依頼）	1
2 月 13 日(土)	第 23 回聴覚障害者文化活動フェスティバル	2

専任手話通訳

種別 / 月別	医療・健康	教育・保育	労働	行政・政治	司法・警察	住宅	財産税務	生活	行事	その他	計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
7月	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
8月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
合計	2	0	2	2	0	0	0	0	1	0	7

平成26年度	2	1	0	2	1	2	0	0	2	2	12

（件数）

中継サービス

月別	件数
4 月	46
5 月	36
6 月	58
7 月	45
8 月	43
9 月	44
10 月	60
11 月	98
12 月	53
1 月	48
2 月	33
3 月	31
合　　計	595

平成 26 年度	417

ビデオテープ貸出

ビデオの分類 ＼ 月別	教養／趣味	記録／報道	教育／教材	映画／ドラマ	健康	子供向けアニメ	スポーツ	芸能／娯楽	自主制作	報道	その他	計
4月	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	2	9
5月	3	4	0	11	0	1	0	0	0	0	0	19
6月	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	8	16
7月	4	16	18	10	0	0	0	0	0	0	2	50
8月	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5
9月	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	6
10月	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	2	50	40	21	4	4	0	0	0	0	0	121
合計	12	77	61	56	4	9	0	0	0	0	13	232

平成26年度	27	35	37	70	3	47	0	5	0	0	39	263

（本数）

コミュニケーション機器貸出
ビデオ・DVD 館内利用本数

種別 月別	集団補聴器 貸出件数	ＯＨＰ		ＯＨＣ		パソコン		ビデオ・DVD 館内利用本数
		貸出 件数	貸出 台数	貸出 件数	貸出 台数	貸出 件数	貸出 台数	
4 月	2	0	0	1	1	2	2	4
5 月	4	0	0	3	3	5	5	2
6 月	1	0	0	4	4	5	5	2
7 月	0	0	0	2	2	2	2	6
8 月	2	0	0	2	2	3	3	0
9 月	2	0	0	2	2	6	6	1
10 月	1	0	0	7	7	6	6	4
11 月	1	0	0	12	12	10	10	1
12 月	1	0	0	13	13	10	10	7
1 月	3	0	0	4	4	9	9	2
2 月	3	0	0	8	8	7	7	3
3 月	1	0	0	6	6	4	4	13
合計	21	0	0	64	64	69	69	45

平成 26 年度	22	1	1	79	78	54	64	81

聴覚障害者相談

種別 月別	生活	職業	その他	計
4 月	1	1	1	3
5 月	1	0	1	2
6 月	0	0	1	1
7 月	0	0	1	1
8 月	1	0	0	1
9 月	1	0	1	2
10 月	1	0	1	2
11 月	0	0	1	1
12 月	0	0	0	0
1 月	1	0	1	2
2 月	0	0	1	1
3 月	0	0	4	4
合　計	6	1	13	20

平成 26 年度	12	0	20	32

（件数）

聴覚障害者相談員研修会

（１）実施日　　平成 28 年 3 月 5 日(土)

（２）時　間　　13：30～15：30

（３）場　所　　名身連福祉センター

（４）内　容　　障害者差別解消法～相談員として差別をどう捉え解消していくか～

（５）講　師　　名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課　主査　中根卓也

（６）参加人数　10 名

社会教育講座

【１日講座・前期】

	開催日	講座名	講師	会場	受講者数
一日講座	7 月 20 日 （月・祝）	アロマキャンドル作り	日本キャンドル アート協会 会長 村上　京	名身連福祉センター	14
	8 月 3 日（月）	うなぎパイ工場見学		エアーパーク（航空自衛隊浜松広報館） うなぎパイファクトリー	20
	9 月 6 日（日）	どうなる？ マイナンバー制度	名古屋市職員	名身連福祉センター	31

【１日講座・後期】

一日講座	9 月 21 日 （月・祝）	音声認識体験会	森　直之 青木　秀仁	名身連福祉センター	
	10 月 18 日（日） 11 月 1 日（日）	渡邊シェフの ケーキ教室	Deaf Patissier Chef 渡邊　孝明	名身連福祉センター	9 11
	1 月 17 日（日）	カラーセラピーで自分を知ろう！	Colour Therapy NewRose 杉原　美由起	名身連福祉センター	10
	12 月 1 日（火）	杉原千畝記念館見学 バスツアー		杉原千畝記念館 道の駅可児ッテ	21
	１月 31 日（日）	美文字になろう！	美文字塾 谷口栄豊	名身連福祉センター	14

【 連続講座 】

連続講座	11 月 22 日（日） 11 月 29 日（日）	オリジナル年賀状を作ろう！	PC アシスト M&T 主宰 中日文化センター・鳴海中日文化センターパソコン講師・慈恵福祉保育専門学校非常勤講師　岡麻弥	名身連福祉センター	4 4
	2/6～3/8 の間 （全 6 時間/人）	パソコン教室	PC アシスト M&T 主宰 中日文化センター・鳴海中日文化センターパソコン講師・慈恵福祉保育専門学校非常勤講師　岡麻弥	名身連福祉センター	2

【 長期講座 】

	開催日	講座名	講師	会場	受講者数
長期講座	6/20～9/26 毎週土曜日	中途失聴者・難聴者対象 手話教室～初級～ （前期）	名古屋市認定手話通訳者 吉松 壽子	名身連福祉センター	19
	7/12～9/26 （全１０回）	中途失聴者・難聴者対象 読話教室	NPO 名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 荒川清美・佐藤知子 アシスタント４名		7
	H27.10/3～H28.3/19 毎週土曜日	中途失聴者・聴者対象 手話教室～初級～ （後期）	名古屋市認定手話通訳者 吉松 壽子		18

【 年間講座 】

年間講座	H27.6/20～H28.3/26	手話倶楽部	名古屋市認定手話通訳者 佐治　由紀	名身連福祉センター	20

【 特別講座 】

特別講座	12 月 20 日（日）	第 6 回 難聴学習セミナー	日本福祉大学中央福祉専門学校教員・言語聴覚士 井上　ひとみ	名身連福祉センター	11

情　報　提　供

【情報誌発行】

（１）発行回数　　4 回

（２）発行部数　　2000 部

（３）配布先　　聴覚障害者、聴覚障害者団体、手話サークル、公共機関など約 170 箇所

（４）主な内容

発刊号	主な内容
第１号	〔特集〕音声認識システムを知ろう 〔その他〕要約筆記者認定試験合格者／社会講座案内／住友カードが聴覚障害者専用代理電話サービスを開始！／IT サポート事業／盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業および養成事業
第２号	〔特集〕障害年金の認定基準の一部改正について 〔その他〕うなぎパイファクトリーとエアーパークに行ってきました！／次回の社会講座のバスツアー杉原千畝記念館へ！／手話通訳者認定試験合格者／名難聴共催　音声認識体験会開催／第２３回聴覚障害者文化活動フェスティバル
第３号	〔特集〕もっと知りたい！マイナンバー 〔その他〕養成講習会のお知らせ／第２３回聴覚障害者文化活動フェスティバル申込み受付中！／平成２７年度社会講座のご報告
第４号	〔特集〕障害者差別解消法が施行されます 〔その他〕盲ろう者向け通訳・介助員と要約筆記者の新人紹介／第２３回聴覚障害者文化活動フェスティバルの報告／手話通訳者・要約筆記者派遣申込書フォームについて／個人情報の取り扱いについて／救急搬送時における手話通訳者派遣が始まります

文　化　活　動

（１）行事名　　第23回聴覚障害者文化活動フェスティバル

（２）期　日　　平成28年2月13日（土）

（３）場　所　　名古屋市中村文化小劇場

（４）時　間　　14：00～15：30（開場13：30）

（５）実施内容　　マカロニー&ＴＡＫＡ’s partyによる手話パフォーマンス
サインまつもと&しの笛あんぼによるしの笛の演奏にのせた
手話と身体と心で表現するサインアート

（６）参加人数　　２３８名

（７）協　力　　名古屋市聴言障害者協会
NPO名古屋難聴者・中途失聴者支援協会

字　幕　映　画

〔まごのて（協力)〕

（１）　活動日　　隔月第二・四火曜日

（２）　時　間　　19:30～20:30
（定例 18：30～20：30 のうち約１時間を字幕活動として充てる）

（３）活動場所　　名古屋市総合社会福祉会館

（４）内　容　　１、福祉映画祭２０１５『新しいアプローチ』『放課後』
会　場　北区役所講堂
開催日　平成 27 年 6 月 13 日
※　１２年ぶりに開催された福祉映画祭で日本映画に２本字幕をつけた。従来はプロジェクターによる字幕投影だったが、今回はＤＶＤに字幕を焼きこんで上映した。

２、面白ＣＭ　字幕付き上映
会　場　名身連聴言センター
開催日　平成 27 年 9 月 27 日
※　聴覚障害者の要望を受け、評判のＣＭ４本に字幕を付けて上映する試みを、名難聴の例会の中で時間をとっていただき行った。全要研愛知県支部とのコラボ企画で、愛知県支部が字幕を付けたものも上映した。

３、字幕付きプラネタリウム上映会
『はるかなる星の世界へ－開館記念番組リバイバルー』
会　場　名古屋市科学館
開催日　平成 26 年 11 月 15 日（土）
※　音声認識ソフトを導入し、事前字幕なしの完全音声認識字幕投影を行なった。その場でのリスピークによる字幕付与により臨場感を生かすと共に、リスピークの際に要約を行ない、字幕の読み取り易さも配慮した。

４、字幕付きプラネタリウム上映会
『ファミリーアワー　ふたごの星の物語』
会　場　名古屋市科学館
開催日　平成 27 年 1 月 17 日（土）
※　音声認識ソフトを用いての上映。お子さんが対象のため難しい漢字が出ないように配慮した。

聴覚障害者向けIT技術向上支援事業

講座	コース	月日	時間	内容
個人指導 1人目	1日目	9月17日（木）	10:00～12:00	入門
	2日目	10月8日（木）	10:00～12:00	
	3日目	10月29日（木）	10:00～12:00	
個人指導 2人目	1日目	10月27日（火）	14:00～16:00	入門
	2日目	12月15日（火）	14:00～16:00	
	3日目	1月19日（火）	14:00～16:00	
個人指導 3人目	1日目	12月1日（火）	13:00～16:00	エクセル
	2日目	12月8日（火）	13:00～16:00	
個人指導 4人目	1日目	11月26日（木）	14:00～16:00	入門
	2日目	12月13日（日）	14:00～16:00	
	3日目	12月20日（日）	14:00～16:00	
個人指導 5人目	1日目	2月18日（木）	10:00～12:00	入門
	2日目	3月1日（火）	10:00～12:00	
	3日目	3月10日（木）	9:15～11:15	
個人指導 6人目	1日目	2月6日（土）	13:30～15:30	エクセル
	2日目	2月11日（木）	13:00～15:00	
	3日目	3月5日（土）	13:30～15:30	
個人指導 7人目	1日目	2月11日（木）	10:00～12:00	入門
	2日目	2月27日（土）	13:00～15:00	
	3日目	3月12日（土）	13:00～15:00	

【講師】　　岡 麻弥　月森 直之

喉頭摘出者発声訓練講習会

（１）期　　日　　毎週火曜日・土曜日

（２）会　　場　　（イ）名古屋大学病院　　（毎週土曜日）
　　（ロ）名古屋市立大学病院　（毎週火曜日）

（３）受講期間　　（イ）名古屋大学病院　　４４日　　１１９時間
　　（ロ）名古屋市立大学病院　　４３日　９６．５時間

（４）講　　師　　名声会指導員

区　分	会　場	講　　師
食道発声法	（イ）	野間　和男 宇佐美　昭夫 百合草　英次 平尾　敏美 高木　英 佐藤　生八郎 水谷　幸雄
	（ロ）	野間　和男 村瀬　行男 高橋　蓋山 村信　末男 佐藤　生八郎 安田　晋
電気喉頭法	（イ）（ロ）	安村　清子

（５）受講者数　　（イ）　１，３０９名
　　（ロ）　１，０３７名